

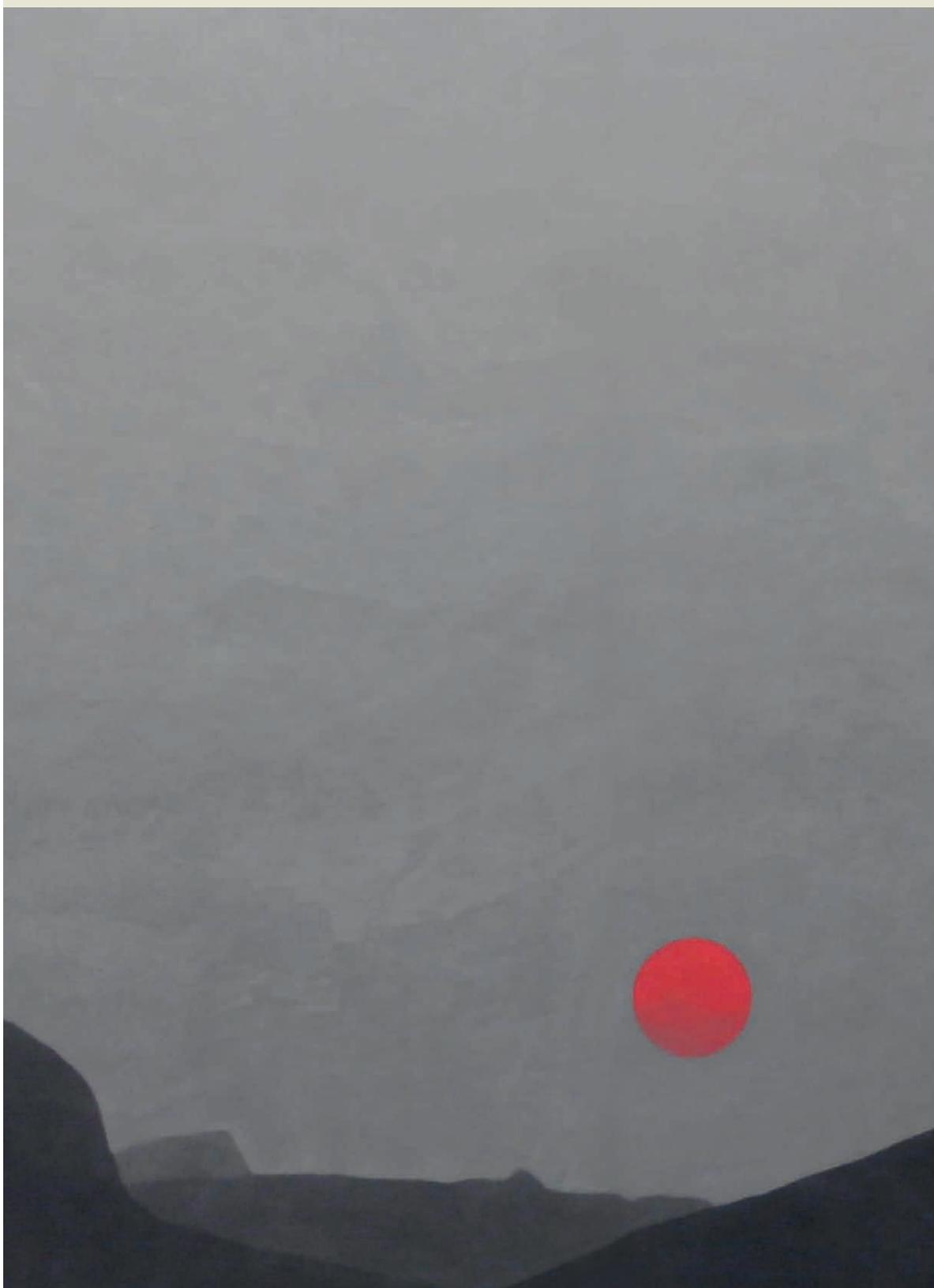
MUJINTO

The Alumni Association of Otani University

2018年9月
No.143

無 書 燈

大谷大学同窓会



同窓会活性化事業の取り組みについて

大谷大学同窓会では、同窓会活動の活性化を目的とした事業として、同窓会支部と大谷大学の学生が連携したイベントの開催に取り組んでいます。

「京都 食とアートのマーケット in 東本願寺 2018」に京都支部が参加

2018年8月25日（土）に東本願寺前の緑地帯を会場に開催された「京都 食とアートのマーケット in 東本願寺 2018」に大谷大学同窓会京都支部がブースを出展しました。



同窓会京都支部ブース

京都支部ブースでは、オリジナル念珠作りを体験しました。子どもたちと楽しく念珠作りを行っていたのは、中央執行委員会を中心とする12名の有志学生です。

学生たちは事前に、福永京都支部長から念珠の作り方や子どもたちへの接し方を教えてもらい、熱心に練習をしていました。当日は、残暑厳しい中、その練習の成果を発揮して、子どもたちと楽しそうに念珠作りを行っていました。



練習風景



念珠作りの様子



念珠作りの様子

また、今回は児童文化研究会にも協力してもらい、人形劇とパネルシアターの公演を行いました。人形劇やパネルシアターが始まると、一生懸命に念珠作りを行っていた子どもたちも手を止めて、見入っていました。



人形劇の様子



パネルシアターの様子



児童文化研究会のみなさん

今回、念珠作りに参加した有志学生の前田貴俊（学園祭実行委員）さんは、「当日は、楽しく子どもたちと念珠づくりができ、また11月16日（金）から開催する「紫明祭」のアピールをすることができました。」と感想を語ってくれました。



前田貴俊さん

長浜支部「おおたにキッズキャンパスin長浜 2018」を開催

2018年9月8日(土)、真宗大谷派長浜別院 大通寺を会場に、大谷大学同窓会長浜支部が主催する「おおたにキッズキャンパスin長浜 2018」が開催されました。

長浜での「おおたにキッズキャンパス」の開催は2回目となりますが、今年は昨年を上回る約100名の子どもたちが参加してくれました。

「おおたにキッズキャンパス」とは、大谷大学の教職支援センターが教育活動の一環として取り組んでいるイベントで、将来、教職を目指している学生が、理科実験や音楽演奏等を通して、子どもとの接し方、学び方を身に付ける貴重な機会となっています。

今年も、教育・心理学科から3ゼミ34名の学生が参加しました。それぞれのゼミが、「体験音楽ランド」、「みんなでつくろう!制作教室」・「パネルシアター上演会」、「楽しい実験観察」のテーマを設定して、会場となった長浜別院の境内全体を使って、子どもたちと楽しく学んでいました。



体験音楽ランド



楽しい実験観察



みんなで作ろう!制作教室



パネルシアター

また、長浜支部も「楽しい昔遊び体験」というコーナーを作って、子どもたちと竹とんぼやバルーンアートの遊び体験で盛りあがっていました。



楽しい昔遊び体験



ヨーヨー釣り

その他の活性化事業

- 会報『無盡燈』慶聞館竣工記念特別号の発行
- 大谷大学フェアの共催
(2018年度は近畿、東海、東北の3会場で開催)
- ホームカミングデーの特別企画
年代別同窓会「40代の会」、職域別同窓会「教職」の開催〈予定〉

大谷大学同窓会では、今後も同窓会活動の活性化につながる事業に取り組んでまいります。もし、同窓会活動の活性化のためのご提案がありましたら同窓会本部までご連絡ください。



大谷大学フェア(東北)公開シンポジウム

キャンパス総合整備・新教室棟建築資金募金のお願い

同窓生の皆様からの厚いご支援をいただきたく、引き続きご寄付のご依頼を申し上げます。大谷大学キャンパス総合整備・新教室棟建築資金としてご寄付をいただきました皆様のご芳名は、寄付者芳名録を作成するとともに、新教室棟「慶聞館」内に芳名板として掲載する予定です。少しでも多くのご支援を心よりお待ちしております。



■ 募金要領

募金名称 大谷大学キャンパス総合整備・新教室棟建築資金募金
募金目的 教育振興資金 教育研究施設・設備の充実のため
目標額 募金総額6億円のうち、同窓会として2億円
募金期間 2019年3月31日まで

■ 寄付金額

1口10,000円〈同窓生の皆様には、5口以上のご寄付を賜れば幸いです。〉 ※1,000円からでもご寄付いただけます。

■ 芳名録・芳名板掲載

寄付金額に関わらず、お名前の公表が可能な方は全員掲載いたします(芳名録は金額も掲載)。

■ 現在の寄付金額

同窓会目標額2億円のうち、126,310,000円(2018年7月31日現在)

■ 寄付の方法

◇振込の場合

同封の「払込取扱票」に必要事項をご記入のうえ、郵便局にてご納入ください(振込手数料は不要です)。

※銀行振込をご利用の場合は、同窓会本部までお問い合わせください。

◇大学にお越しの場合

大谷大学教育振興資金事務局(尋源館2階校友センター内)までお越しください。

◇クレジットカードの場合

インターネットを利用したクレジットカード決済によるご寄付が可能です。

領収書発行日付は、各カード会社から学校法人真宗大谷学園に入金された日となります(お申し込みから通常1〜3ヶ月後)。お申込受付が10月以降の場合は、領収書の発行日付が翌年となりますのでご注意ください。

■ 税法上の優遇措置について

ご寄付をいただいた場合、確定申告等により税法上の優遇措置が受けられます。

参考) 年収5,780,000円の給与所得者が100,000円の寄付をした場合、およそ39,000円の寄付金特別控除(還付)が受けられます。※扶養等の条件で控除額は変わります。

※クレジットカード決済、税法上の優遇措置等については、

学校法人真宗大谷学園ホームページ(<http://www.otani.ed.jp/kifu.html>)をご覧ください。

○寄付に関するお問い合わせ先

大谷大学教育振興資金事務局(校友センター内) TEL.075-411-8124 FAX.075-411-8157

同窓生の図書館、博物館利用について

同窓生は、大谷大学の図書館、博物館(特別展無料)を利用することができます。ただし、図書館の利用には、利用証申請手続きが必要です。

図書館利用証申請手続きについては、大学ホームページにてご確認ください。

図書館についてはこちら

http://www.otani.ac.jp/kyo_kikan/library/

博物館についてはこちら

http://www.otani.ac.jp/kyo_kikan/museum/

同窓会本部までご連絡ください

●住所変更

☆同窓会本部では、同窓会員の名簿を管理しています。

☆卒業・修了の際は、在学時の氏名・保証人住所が「同窓会員データ」として一旦登録されます。

☆同窓会員データが、同窓会報、同期会の開催案内など各種送付物の宛先となりますので、氏名・住所に変更がある場合は、同窓会本部へご連絡ください。

●ご結婚

☆同窓会員がご結婚される際には、同窓会より祝電をお送りします。

☆同窓会報『無盡燈』にてご結婚のご報告をさせていただきますので、ご一報ください。

※ホームページ「無盡燈」のトップページにあるメールフォームをご利用ください。電話・FAXでも受け付けています。

OTANI 古本 Project

OTANI UNIVERSITY USED BOOK DONATIONS

ヒロガル×ツナガル 学生支援

読み終えた本、不要になった本(DVD・CD・ゲームを含む)を寄付しませんか?

寄付された書籍は、社会へ還元され、いただいた寄付金は大谷大学在学生在が選ぶ大学図書(学生選書プロジェクト)の本の購入費用等として活用されます。

※買い取り価格は需要と供給で決まるため、寄付していただいた書籍等の状態が良くても値段がつかないこともありますので、ご了承ください。

※「OTANI 古本 Project」では、そのように値段がつかない書籍等を、運営会社の株式会社バリューブックスを通じて、国内の福祉施設、図書館、海外の教育研究機関等に寄贈します。

お申込方法

STEP 1

梱包

書籍・DVD・CD等を段ボール箱へ詰めてください。

STEP 2

お電話

提携会社バリューブックス 0120-826-292 に電話し、「OTANI古本Projectの申込み」と、お伝えください。

- 電話受付時間 10:00~21:00 日曜は17:00まで 年中無休
- 5冊(5点)以上の場合、宅配業者が集荷に伺います。(送料無料)

STEP 3

寄付

提携会社バリューブックスにて、買い取られます。その売却代金は、「大谷大学」に寄付されます。

- 集荷から約10日で、提携会社バリューブックスから「書籍寄付受領書」が送付されます。申告に必要な領収書発行を希望される方は、別途大谷大学までご連絡ください。約2~3ヶ月で申告に必要な領収書が送付されます。領収書発行の日付は提携会社バリューブックスから大谷大学への入金日となります。

皆さまからのご寄付は、大谷大学在学生在が選ぶ
大学図書(学生選書プロジェクト)の本の購入費用等に役立てられます。

Webからでもお申し込みができます。

OTANI古本Project

検索

古本の集荷・仕分け・買い取りについては、株式会社バリューブックスに運営をお願いしています。

株式会社バリューブックス

TEL. 0120-826-292 E-mail. info@furuhon-bokin.jp

古物商免許：長野県公安委員会第481100800018号

お送りいただく書籍等について

○買い取れる書籍等の例

ISBNコードの付いた書籍・CD・DVD

ISBNコードの付いた書籍・CD・DVD、発売から間もない書籍等、リサイクル市場での価値が高い商品などは特に寄付金が大きくなる傾向がございます。

※書籍・CD・DVDなどの価値は需要と供給で決まるため、寄付していただいた本の状態が良くても値段がつかないこともありますので、ご了承ください。



×買い取れない書籍等の例

ISBNのない書籍・個人出版の書籍/古書/マンガ雑誌・コンビニコミック・百科事典/ソフト・ディスクがひどく傷ついているもの・ケース及びディスクが欠品しているDVD・規格品番がないもの・違法なもの・海賊版/コピー/サンプル・児童売春・児童ポルノ禁止法(関連法令含む)に抵触する恐れのある全ての商品

値段がつかず、また古書市場でも再販できなかった書籍については、ブックギフトプロジェクトという形で、若者支援施設や国内外の小中学校の図書館、海外の教育研究機関に寄贈しております。

よくあるご質問

Q1: どんな本が寄付されていますか?

ビジネス書・専門書のほか、文庫本や小説も多数いただいております。

Q2: 買い取りの対象となるのは書籍のみですか?

当プロジェクトではDVD・CD・ゲームソフトのご寄付も歓迎いたします。

Q3: 何冊(何点)でも受け付けてくれますか?

本、DVD、CD、ゲームソフトは合計5冊(5点)以上で送料無料にてお送りいただけます。

Q4: 送料はかかりますか?

合計5冊(5点)以上で無料となります。合計4冊(4点)までは寄付者にてご負担いただいております。集荷時にお支払いいただきます。

Q5: 書籍は、中がきれいでなければいけませんか。

例えば、所どころ鉛筆でチェックが入っていたり線が引いてあったりするのは、対象外ですか。

線引きなどの書き込みがあった場合でも、減額になりますが対象になります。

Q6: 税法上の優遇措置は受けられますか?

金銭での寄付同様、お住まいの地域や所得に応じて、税法上の優遇措置を受けることも可能です。ご希望の方は、約2~3ヶ月で申告に必要な領収書を発行いたしますので、大谷大学校友センターまでご連絡ください。

Q7: 送付した書籍等は返却してもらえますか?

申し訳ありませんが、いただいた本の返却希望には、対応できかねます。

大谷大学と私



藤島建樹先生に
インタビュー

「時代」と「大学」に
生かされて

本学で30年あまり教鞭をおとりいただいた藤島建樹先生に、尋源館でお話を伺いました。

▶大谷大学に入学された経緯、学び始められた頃についてお聞かせください。

私の自坊は、島根半島の最東端にある小さな港町です。しかし私は、父が大谷大学に奉職していたこともあって、京都生まれの京都市民です。住居も谷大に歩いていける範囲でしたので、自然に谷大への親近感は育まれたようです。ただ戦争が激しくなり京都も危ないということで、小学校の3、4年生の2年間は島根の自坊に疎開しました。これが私の社会的変動を受けた最初でした。寺での生活は、地域やご門徒の人々や同級生たちと馴染むことができました。また、それは一人っ子の私がこの寺を継がねばならないことを自覚させられる機会になり、後の大きな財産となったこと、田舎での生活で体力がついたことは併せて収穫でしたが、成績はがた落ちでした。

▶大学では東洋史に進まれました。

私の父は日本史関係の教員でした。狭い家の中に詰め込まれていたのは殆どが歴史関係の書物です。京都の名所案内的なものなどを時に読んでいましたので、谷大に入って目が行くのは、やはり史学科でした。しかし、日本史には親父がいるので、何かにつけて窮屈だと思いました。そこで、少しでも広く、長い大陸の歴史にふれられたらと思い東洋史に目を向けました。東洋史は、東洋史ゼミと中国仏教史ゼミに分かれていて、当時は野上俊静先生が兼担しておられました。私が、東洋仏教史を主にしたいと言いますと先生は、「歴史はまず広い視野と全体の流れを把握することが大切、その基礎の上で自分の課題を考えるように」言われ、それに加えて「歴史を本気でやる気なら、今までは通説となっている歴史を一度全て疑ってみることだ」とも言われたのには驚きました。少し考えれば当然のことですが、今でも「新しい歴史」とか、「歴史の書き換え」などが絶えることなく出版されるのは、前説を否定し、新しい歴史が展開している事実を示しています。以後、私も新専攻生が入ってくると、この言葉をよく使わせてもらいました。

こうして、東洋史を専攻しましたが学部時代は、陸上部員としての

部活や、アルバイトを兼ねた「学生観光ガイド」をするなど、学問はそっちのけで学生生活を楽しましました。

広くて長い東洋史の中で興味を持ったのは、「征服王朝時代」と言われていた時代です。10～14世紀に至る北方の少数民族騎馬民族と伝統的な漢民族王朝の対決時代です。野上先生は『遼金の佛教』として一冊を出版しておられたことや、その繋がりから、当時日本のトップと思われた田村実造・外山軍治さらには宮崎市定の各先生方が出講しておられその授業を受けたことと、さらに野上先生が次の元朝に研究を進めておられたことなどなどに刺激されてモンゴル族の「元朝」を学ぶことにしました。しかし、研究を進めるうちに、残された漢史料が少なく、モンゴル語・チベット語などの史料は言語と量に遮られて利用できないことなどの壁に突き当たりました。そして今の東洋史は漢民族史であり、周辺で影響を与えた少数民族の本物の動きを解明した東アジア史の必要性を痛感しましたが、大学の変革の波にも揺られて、想いだけに終わったのは自分の目的意識の弱さながら、今でも残念に思っています。

▶特に印象深い出来事をお聞かせください。

1960年、大学院に進みました。世に謂う「60年安保」の時です。社会の動きが激しくなりました。大谷大学も静かな時間はなくなってきていましたが、漢和辞典の活用の仕方、漢文の訓読法など基本的なことを身につけるのに追われる始末でした。60年代後半になり、一つの転機が訪れました。全国的な「学園闘争」の嵐です。博士課程の単位は一応取得して、研究室員から助手に任命されました。この闘争自体が、大学の権力的で封建的機構や閉鎖性を打破し、学生を初めとして全ての在籍者を構成員として認めようとする運動でした。大谷大学も全国的ペースからは少し遅れましたが、闘争は起りました。団体交渉・一部建物の占拠・さらには機動隊の導入もありました。助手は教授会からは教員とはみなされず、学生からは権力に追従する者と見られました。当時助手は20人弱だったのですが、助手研究室員会（「助研会」）を組織し態度を明確にしようとしたのです。しかし、そう簡単にはいきません。教授会に頼る者と、闘争学生に理解を示す者で、真二つに分かれる始末でした。私も困りもし、父が教授会メンバーだったこともあって苦悩もしましたが、どちらかと言えば改革派に理解を示しながら、なるべく穏やかに過ごすという日和見的に振る舞うのが精一杯でした。

助手は研究室の管理を委ねられていましたが、ある時改革派の学生に詰め寄せられ、研究室の鍵を学生に渡せと迫られました。「研究室の学生への開放」ということです。しかし、私の机も私物もある部屋の鍵を渡す訳にはいかない、もし勉強で部屋を使いたいのなら、いつでも言ってくれ、都合のつく限り部屋を開けるといような問答を重ねたことなどを思い出します。また助研会が大学の一パートとして認められ、学長選の拒否権を得たことも一つの成果だったと思います。こんな出来事の中で、人の流れや各人の想い、組織の在り方などを学ぶことは多々あったことは今から振り返ると、とても得難い経験であったと思います。

また研究室の助手は、学生のたまり場であると同時に、大谷大学に出講していただいている各大学の先生方の、授業前後の控室の役割を持っていました。わずかな時間でしたが、お茶を出しながら交わす会話で先生方の学識は勿論のこと、人間性に触れ、趣味や時事問題に至るまで様々な意見を拝聴できたことも助手としての特権だったと思います。助手時代のもう一つ貴重な体験は、京都大学の

人文科学研究所の研究班の末席に入れていただいたことです。日本の東洋学研究のメッカと言われた「人文研」では東洋学を学ぶ者なら誰でも知らない者はないすごい先生方の部屋が並び、それぞれテーマに即した研究班を主宰されていました。京都を中心とした各大学の教授を主メンバーとして組織された各班の末席には、各大学の若手研究者も少々参加を認められていました。野上先生に勧められて、何も分からないままに、その中の一つの研究会である藤枝晃先生の「敦煌班」に出席を命じられました。与えられた史料の訓読・訳註を用意し、全出席者の前で発表するのです。各先生方からの厳しい質問や注意が飛び出し、冷や汗が止まることのない時間でしたが、大いにこれは勉強になりました。中でも、世界遺産「敦煌」のすごさを知ったのもこの研究班でのことでした。そして時には研究会の後、夕暮れの中庭に集まり、先生方が自分の部屋から持ち出されたボトルから一杯いただきながら、先生方が手に入れられた希観本の解説を受けたり、学問論の応酬を聞いたり、東山に出た月をめながらの実に楽しく稔りある貴重な時間で、「人文研」に出入りした月日のことは今でも懐かしく、印象深い思い出です。

▶本学の役職を長年お務めになれましたが、印象深いことをお聞かせください。

大学の正常化の歩みを始めると大変忙しくなりました。図書館長を皮切りに、次々に部長職を命ぜられて、今思うとやらなかったのは学長と短期大学部長ぐらいでしたでしょうか。器用にこなす能力はないので、四苦八苦しながらの毎日で、研究の方はさっぱりでした。特に印象深いのは、短い間ではありましたが、学監・文学部長と学監・事務局長の二つを兼務したことです。今思い出しても大変でしたが、新しい大学造りという波の中で夢中でやったこともまた懐かしい思い出の一つです。

▶先生は同窓会理事長のあとに同窓会長を12年お務めいただいています。同窓会活動で先生が大事だと思われることをお教えください。

当時は別に珍しくはなかったのですが、親子で在籍していて、父が同窓会の役員をしていたので、時々連絡係を務めたのが縁で、キャンパス中央にあった図書館の2階の同窓会事務室に出入りし、可愛がってもらった記憶があります。かなり後になって、同窓会の理事長を命ぜられ、会長の佐々木教悟先生のもとで企画に加わるようになりました。佐々木先生は温厚篤実な方で、常に熱心に関わっておられたのが印象的でした。会長職16年間、ご在職のままお亡くなりになりました。その後を私が継ぎ、以後12年間会長を務めました。心したのは、同窓生一人ひとりの同窓意識を喚起して、協力してもらうこと、従来からの本山の宗政上の教区制度に準じた組織を、一般学生も増えた状況にあわせて、一県一支部制をとることを推進したことです。支部総会で、夏季八十講を行うこともその目的でした。地域事情もあり、簡単にはいかないでしょうが、将来を考え、組織の充実と、若手幹部の養成を常に意識しておくべきだと思います。

▶今後の大谷大学に願われること、メッセージをお願いします。

大谷大学は堅持してきた単一学部体制を変え三学部となりました。時代と社会の動きの中で決断した変革でしょう。人文学の大学としての姿をより鮮明に打ち出したと思います。大谷大学には先学の貴重な提言があり、大学の理念として語り続けた経緯があります。「本学は宗教の学校であります」、そして教育と宗教が人を育てる「3モットー」を実践すること。この理念をもう一度かみしめ、より強い基盤として意識し、厳しい相互理解を踏まえた議論と協調の基盤の中で、その上に3本の樹が大きく育ってくれることを期待しています。

【略歴】	1983~1985年 大谷大学 図書館長	【専門】
1936年 鳥根県に生まれる	1988~1991年 大谷大学 学生部長	アジア仏教史
1960年 大谷大学文学部 卒業（東洋史学）	1992~1993年 大谷大学 大学院文学研究科長	【著書と論文】
1962年 大谷大学大学院修士課程 修了（仏教文化）	1993~1996年 大谷大学 学監・文学部長（兼任）	『元朝治下における漢人一族の歩み』
1966年 大谷大学大学院博士課程 単位取得（仏教文化）	1994~1994年 大谷大学 学監・事務局長（兼任）	『元朝治下華北の寺院』
1966年 大谷大学 助手	1996~2000年 大谷大学 大学院文学研究科長	『征朝王政期における信仰形態』
1972年 大谷大学 講師	1999~2001年 大谷大学同窓会理事長	その他
1977年 大谷大学 助教授	2005~2017年 大谷大学同窓会会長	
1984年 大谷大学 教授	学校法人真宗大谷学園評議員	
2002年 大谷大学 名誉教授	2006~2010年 真宗大谷派札幌別院輪番	

藤島建樹先生へのコメント

夏休みに入るとすぐチベットに出かけ、後期の授業が始まっても帰国せず、帰国してもすぐ挨拶に伺わない。「学内を変な人が歩いていました」との声を聞いて「ああ、三宅帰ってきたんやな」と思わせる。決して真面目な学生ではなかった私が、コメントするなどおこがましいが、教員という立場となり、色々な学生を見て振り返ってみると、先生から学んだことの一つは「信じて温かく見守る」ことの大切さであろう。

東洋史出身ではなかった私の指導を引き受けてくださったのも、漢民族中心の東アジア史ではだめだという思いとともに、チベットに対する何らかのシンパシーがあったからではないかと思う。東洋文庫（東京）で開催された講習会でチベット語を学んだことがあるとおっしゃっていたのを覚えている。となれば、ぜひ一度かの地を訪問していただきたいと願っている。

大谷大学教授 三宅 伸一郎(チベット学)



三宅 伸一郎
1992年3月 大谷大学文学部史学科卒業
1996年3月 大谷大学大学院修士課程仏教文化専攻修了
1999年3月 大谷大学大学院博士後期課程仏教文化専攻満期退学
2003年4月 大谷大学講師
2012年4月 大谷大学准教授
2018年4月 大谷大学教授

同窓会オリジナルグッズ販売中

大谷大学同窓会では、オリジナルグッズを販売しています。購入を希望される方は、大谷大学同窓会本部（校友センター）まで、Eメール、FAXまたは郵送にてお申込みください。

オリジナルケータイマグ

同窓会本部では、オリジナルケータイマグ（サーモス製）を販売しております。（2,500円（送料別））



これ以外のオリジナルグッズ

ケータイマグ以外にも、名刺入れ（3,000円）、ブックカバー（3,000円）などがあります（いずれも送料別）。

同窓会ホームページ「無盡燈」の、「会員特典・オリジナルグッズ」のページにも掲載しています。

http://www.mujiinto-otani.org/use_facilities/index.html



大谷大学同窓会本部

〒603-8143 京都市北区小山上総町 大谷大学校友センター内
TEL. 075-411-8124 FAX. 075-411-8157 E-mail kouyu@sec.otani.ac.jp

支 部 だ よ り

大谷大学フェアを開催

2018年7月8日(日)に大谷大学フェア(近畿)を、7月21日(土)に大谷大学フェア(東海)を、8月26日(日)に大谷大学フェア(東北)をそれぞれ開催いたしました。

大谷大学フェアでは、各地区の大谷大学同窓生、在学生保護者、大谷大学に関心をお持ちの方々を対象とし、同窓会・教育後援会・大谷大学の合同企画として開催しています。

当日は同窓会支部長会や進学相談会、教育後援会保護者懇談会などのイベントを開催し、さらに「人が育つということ」を統一テーマに公開シンポジウムを行いました。

大谷大学フェア(近畿)では、荒瀬克己大谷大学教授と木越康大谷大学長の基調講演の後、コーディネーターを同窓会大阪市支部の墨林浩支部長に務めていただき、公開シンポジウムが行われました。

大谷大学フェア(東海)では、木越康大谷大学長と志藤修史大谷

大学社会学部長の基調講演の後、コーディネーターを同窓会飛騨支部の平野真副支部長に務めていただき、公開シンポジウムが行われました。

大谷大学フェア(東北)では、谷山洋三東北大学大学院文学研究科准教授と赤澤清孝大谷大学准教授の基調講演の後、コーディネーターを木越康大谷大学長に務めていただき、公開シンポジウムが行われました。

どの公開シンポジウムにも、多くの同窓会員、教育後援会員をはじめ、一般の方々にも出席いただき、盛会のうちに終えることができました。講演会後の懇親会でも、再会を懐かしむ同窓生の姿などが見られ、盛会となりました。



大谷大学フェア(近畿)



大谷大学フェア(東海)

支部を盛り上げるために



大分支部長 長久寺 徳純

図らずも大分支部の支部長を拝命し二年目になりますが、初めに取り組んだのが事務局の設置でした。大分支部では事務局が無く、歴代支部長が会計や案内の発送、同窓

会本部との手続き等を一身に引き受けてくれました。そこには幾多のご苦勞があったと思います。そのご苦勞に報いる為にも事務局設置が急務だと考え、事務局を設置しました。設置における支部長の負担軽減は、今後の支部運営活性化に必ずつながることだと思います。

次に役員任命です。大分支部では、「夏季八十講」や「支部総会」は、大分市や隣の別府市での開催が長く続きました。去年の「夏季八十講」は大分市組と共催し、「真宗公開講座」として一般にも開放し、約250名の参加がありました。しかし「支部総会」となると20名程です。県庁所在地での開催は、人口も多く、交通の利便性もあり講座の参加者は見込めますが、「支部総会」は毎年同じ顔触れです。総会に関しましては、こちらから出向することも大学・同窓会にとって有意義なことだと考えました。

そこで大分支部を四つの地域に分け、地域内の同窓生から副支部長・幹事3名を役員として選出しました。人選に当たっては、教区教化活動や仏教青年会での活動を通して知り合った仲間にかかけました。そして会則を新たに作成し、役員・事務局員を配置しました。今後その役員が地域を、「公開講座」・「支部総会」として巡回していきたいと思っています。

またその役員が大谷大学のPRを行ったり、同窓生の要望に耳を傾けたり出来れば幸いです。



2017年度夏季八十講の風景

在学生との交流から活路



長浜支部事務局 秦 信映

今から10年前の平成20年から、在学生との懇親会を京都で3年続けて開催しました。在学時代に学生同士が交流を深めることや、支部役員とのつながり、更に、卒業後地元

へ帰られたときに、教区の事業、特に青少年を対象とした行事のスタッフとして協力していただけないかとの願いに立って企画しました。毎回20人前後の支部出身の教職員や学生等が参加してくださり、会合は大いに盛り上がり大きな成果を得ました。

昨年、本部との協力により「おおたにキッズキャンパスin長浜」を開催しましたが、子どもや保護者・学生など合わせて200人を超す参加者で、その中心的な役割を担ってくださったのが、京都の懇親会に参加してくれた人たちでした。更に、今年5月に長浜教区主催の「花まつり」を初めて同窓会支部と共催しました。この時も、支部出身の学生を中心とした「おおたにキッズキャンパスおでかけ隊」として参加してくれました。教区内寺院から子ども約200人、保護者など総勢400人を超える人が参集し、終日楽しい有意義な集いになりました。これも支えてくださったのが、京都の懇親会に参加してくれた当時の学生でした。

こうしたことができたのも、3年間ではありましたが、在学時代に学生同士や同窓会役員らとの交流の場を開催した成果だと思っています。昨年からは若い人にも支部役員に加わっていただきました。これからは教区や別院の諸行事と連携しながら、支部活動の輪を広げていきたいと考えています。在学生との懇親会は、昨年から再開しました。

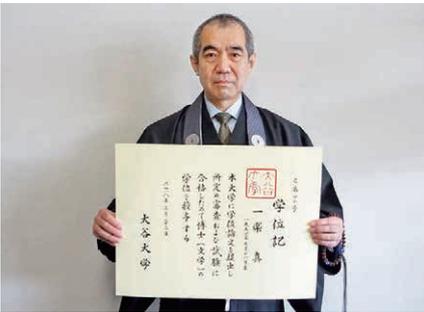


長浜支部が協力した「花まつり」

母校だより

一楽真教授が、 博士（文学）の学位を取得

2018年3月23日、本学の一楽真教授が学位論文「親鸞の救済論」により、大谷大学から博士（文学）の学位を取得されました。



一楽真教授

名誉教授の称号が贈られる

このたび、大谷大学名誉教授称号授与規程に基づき、本学の教育上、また学術上、特に功績のあつ

た先生に贈られる名誉教授の称号が草野顕之先生（日本仏教史（中世）・真宗史）と、延塚知道先生（真宗学）に贈られました。

授与式は4月1日および4月3日に学長室において行われました。



草野顕之先生



延塚知道先生

課程博士の学位を授与

2018年3月16日の学位記授与式

において、博士後期課程修了者3名に「博士（文学）」の学位が授与されました。学位取得者は、竹林遊（仏教学）、梶哲也（仏教学）、味村考祐（哲学）の各氏です。



（左より）竹林遊氏、梶哲也氏、味村考祐氏

元大谷大学教授西井元昭先生 （フランス語）、ご逝去

2017年11月9日、元本学教授の西井元昭先生（90歳）がご逝去されました。

先生は、昭和44年4月に講師として奉職され、平成4年3月に教授として退職されるまでの長きに亘ってフランス語を教えてこられました。

ここに深甚の謝意を表し、謹んで哀悼の意を表します。

人 事

（2017年8月1日～
2018年8月31日）

執行部の交代

[学監・副学長]

宮崎 健司(再任)

[教育・学生支援担当副学長兼文学部長]

井上 尚実

[学生部長]

浅若 裕彦

[社会学部長]

志藤 修史

[教育学部長]

関口 敏美

[大学院文学研究科長]

滝口 直子

[短期大学部長]

太田 智子

2018年4月1日付(各通)

館長等の交代

[図書館長]

東館 紹見

[博物館長]

國賀由美子

[人権センター長]

福島 栄寿(再任)

[学寮長]

藤枝 真

2018年4月1日付(各通)

附属幼稚園長の交代

[幼稚園長]

竹田 ひとみ

2018年4月1日付

退職

* 定年退職

[教育職員]

草野 顕之(教授・文学部)

齋藤 望(教授・文学部)

徳岡 博巳(教授・短期大学部)

ハウザー プレストン L.(教授・文学部)

藤本 芳則(教授・短期大学部)

大城 邦義(准教授・短期大学部)

2018年3月31日付(各通)

* 契約期間満了による退職

[教育職員]

岩渕 信明(特別任用教授・文学部)

木船 憲幸(特別任用教授・文学部)

高山 芳治(特別任用教授・文学部)

延塚 知道(特別任用教授・文学部)

水島 見一(特別契約教授・文学部)

井川 利尾(任期制講師・文学部)

鄭 祐宗(任期制講師・文学部)

藤原 美沙(任期制講師・文学部)

矢野永吏子(任期制講師・短期大学部)

池末 陽子(任期制助教・文学部)

翁 和美(任期制助教・文学部)

志賀 信夫(任期制助教・文学部)
濱野 亮介(任期制助教・文学部)
三鬼 文知(任期制助教・文学部)
宮崎 展昌(任期制助教・文学部)

[事務系嘱託]

掛江 美里(総務部)
河野麻友美(企画・入試部)
神田 友恵(教育研究支援部)
橘高 梓(企画・入試部)
窪 浩子(教育研究支援部)
塩見 優樹(学生支援部)
段 敦子(教育研究支援部)
福岡由佳子(教育研究支援部)
水野 友絵(総務部)
宮川真紀子(学生支援部)
森川 茜音(企画・入試部)

[寮監]

三池 大地(貫練学寮)
三池多笑美(自灯学寮)

[PD研究員(真宗総合研究所東京分室)]

田崎 郁子
2018年 3月31日付(各通)

* 依願退職

[教育職員]

高瀬 淳也(准教授・文学部)
野澤 真樹(任期制助教・文学部)
2018年3月31日付(各通)

[事務職員]

田中 茂雄(総務部)
2017年12月31日付
吉岡由起子(学生支援部)
2018年3月31日付
大塚 政子(学生支援部)

2018年7月31日付

荒木さとみ(総務部)
内堀 陽子(教育研究支援部)
高田 理可(総務部)

2018年8月31日付(各通)

[事務系嘱託]

大橋 宏子(学生支援部)

2018年7月31日付

新規採用

[教育職員]

江森 英世(教授・教育学部)
川北 典子(教授・教育学部)
西村 雄郎(教授・社会学部)
平尾 良治(教授・社会学部)
池永 真義(准教授・教育学部)
井上 和久(准教授・文学部)
木塚 勝豊(准教授・教育学部)
四方 保仁(准教授・文学部)
スミザースライアン W.(准教授・文学部)
林 正幸(准教授・短期大学部)
谷 哲弥(講師・教育学部)
渡邊 大介(講師・教育学部)
塩見 知利(特別契約教授・教育学部)
徳岡 博巳(特別契約教授・短期大学部)
原田奈名子(特別契約教授・教育学部)
藤本 芳則(特別契約教授・短期大学部)
松井 玲子(任期制教授・短期大学部)
大艸 啓(任期制講師・文学部)
香川 周子(任期制講師・短期大学部)
古谷 伸子(任期制講師・社会学部)
味村 考祐(任期制助教・文学部)
阿部 友香(任期制助教・文学部)
岩本真利絵(任期制助教・文学部)
梶 哲也(任期制助教・文学部)

野末 幸子(任期制助教・文学部)
野村 実(任期制助教・文学部)
服部 徹也(任期制助教・文学部)
光川 眞翔(任期制助教・文学部)

[事務職員]

鈴木美佳子(学生支援部)
辻原 雅大(総務部)
三池多笑美(企画・入試部)

[事務系嘱託]

宇野真由美(総務部)
小木野暁子(教育研究支援部)
垣内 啓子(教育研究支援部)
北村 文代(教育研究支援部)
實平久望子(企画・入試部)
清水由香里(総務部)
竹山 佳澄(企画・入試部)
田村 雅子(教育研究支援部)
八木麻衣子(学生支援部)

[寮監]

廣田 至(貫練学寮)
谷口 愛沙(自灯学寮)
2018年4月1日付(各通)

昇格

[教授]

浅若 裕彦(文学部)
喜多恵美子(文学部)
平野 寿則(文学部)
三宅伸一郎(文学部)
渡部 洋(文学部)

[准教授]

新田 智通(文学部)

[特別契約准教授]

小川 健一(短期大学部)
2018年4月1日付(各通)

雲井昭善名誉教授を偲んで



2017年12月5日、本学名誉教授である雲井昭善先生が逝去された。101歳であった。雲井先生は1915年に大阪府和泉市でお生まれになった。1928年に得度受戒され、天台宗の僧侶となられた。1941年に大谷大学文学部仏教学科を卒

業され、卒業後は京都大学文学部哲学科選科に入学され、哲学科印度哲学選科を修了された後、東京大学文学部印度哲学科で学ばれた。1955年に大谷大学文学部の専任講師、1961年に教授になられ、同年東京大学から文学博士の学位を授与された。

1963年、大谷大学にインド学講座を開講された。それまで日本では仏教学研究のなかでインド学が研究されていた。しかし、1961年にウーン大学に留学されたことを契機に、インド学研究の重要性を痛感されたのであった。

1975年から1981年まで日本学術会議会員、また同年に定年退職されるまで、

文学部長、大学院文学研究科長、学長代行など多くの大学の要職に就かれた。

雲井先生のご専門はパーリ語と漢文資料による原始仏教研究とヒンドゥー教ヨーガ学派の研究であり、この二つが大きな柱であった。2008年、93歳のときに984頁にもなる『パーリ語佛教辞典』を出版された。

2013年には雲井先生からのご寄付を財源とする雲井奨学金が本学に創設された。これは経済的事情により修学が困難な学生に対して給付される奨学金であり、現在でも多くの学生が恩恵を受けている。

大谷大学教授 山本 和彦

桂華淳祥名誉教授を偲んで



2018年3月21日、桂華淳祥先生が逝去された。昨年3月に定年退職を迎えられ、名誉教授の称号を授与されてから一年に満たない、余りに早い旅立ちであった。

先生は1952年に現在の岐阜県海津市南濃町でお生まれになった。ご実家は真

宗大谷派の桂林寺である。1970年に本学文学部に入学され、史学科で東洋史学を専攻された。さらに大学院で研鑽を積んだのち、助手を経て1989年に専任講師に就任された。この間、1983年から一年間、中国の北京師範大学に留学されている。1996年に助教授、2005年に教授となり、学生・院生の指導に当たる一方、歴史学科主任、東本願寺海外布教資料室長などを歴任された。

先生の主たる研究テーマは、中国金代・元代における仏教と社会との関わりを解明することであった。これは、大学院の指導教授であった野上俊静先生や、藤島建樹先生の学問を継承するものであるが、桂華先生のご研究は、地域に残

された石碑などのいわゆる石刻史料に着目し、その精密な読解の上に立って、在地社会における寺院・仏教の姿を活写していく点に特徴があり、多くの成果をあげてこられた。また真宗総合研究所では石刻史料の研究班を組織され、自ら研鑽を積むとともに、後進の指導にも尽力されている。

先生の大学生生活最後の五年間は病気との闘いであったが、治療を受けつつ、淡々と職務をこなされ、昨年2月10日の最終講義では、闘病にも触れながらご自身の学問を回顧された。温和で、往昔の中国の士大夫を彷彿とさせる、大人の風格を備えた先生であった。

大谷大学教授 浅見 直一郎

クラブ紹介 (尺八部)



創部100周年記念演奏会

卒業生の皆さん、こんにちは。私たちは現在第3学年1名と第2学年1名で活動しています。私たち尺八部は、月・金の週二回、部室で練習したり、箏曲部と合同で練習をしたりしています。

尺八は木管楽器であり、名前の由来は標準の管長が一尺八寸(約54.5cm)であるからと言われていています。

主な活動としては、7月中旬にある「サマーコンサート」、11～12月に行われる「定期演奏会」などがあります。また、尺八部が加入している「京都学生三曲連盟」の行事にも参加しています。最近では北区のイベント等に参加させていただく機会もありました。これらの行事は箏曲部と合同で行っており、お互いに支えあって活動しています。

尺八部は今年で100周年を迎える伝統ある部活です。先日6

月30日にOB・OGの方々が主催で大谷大学の講堂で100周年記念演奏会を行いました。このような記念すべき会に尺八部員として出演できたことを非常に誇らしく思いました。大人数で演奏する機会があまりないため、非常に楽しく演奏させていただきました。非常にたくさんのOB・OGの方とお話しさせていただき、改めて、尺八部100周年の重みというのを感じ、またOB・OGの皆様の尺八部に対する大きな愛情をひしひしと感じました。

今の尺八部は人数が少ないのですが、日々練習に励み、先輩方の伝統を守っております。今後とも尺八部をよろしく願います。

尺八部 部長 重政 空

教育振興資金(募金)への御礼

大谷大学・大谷大学短期大学部では、教育研究環境の一層の充実を図るために「教育振興資金局」を設置し、募金活動を行っています。このたびはご協力いただき誠にありがとうございます。ご寄付いただきました資金は、教育・研究の充実を図るための環境整備に充ててまいります。

今後も引き続き、募金のお申し込み受け付けを行っておりますので、ご支援賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

2017年8月1日から2018年7月31日までの間に、ご寄付をいただきました方々のご芳名は次のとおりです。厚く御礼申し上げます。

(2017年8月1日～2018年7月31日) ◆総数 64件 ◆寄付金総額 19,024,946円

(内訳)

2017年度分(敬称略)(2017年8月1日～2018年3月31日)

青藤 忍(愛知県) 麻生 英城(大阪府) 板倉 昭二(京都府) 大森 昌光(秋田県) 加藤 祐彰(福井県) 木曾 順彦(石川県)
近藤 政樹(岐阜県) 坂田 邦生(愛知県) 佐竹 章弘(滋賀県) 武田 真(新潟県) 中川 香澄(奈良県) 中田 康成(山梨県)
坂東 和人(徳島県) 菱田 隆(大阪府) 安田 智之(京都府) 山本 秀徳(愛媛県) 渡辺 浩伸(北海道)
因性寺 菊池 正文(北海道) 有限会社石間企画事務所 代表取締役 石間 裕(東京都)
キノビクス株式会社 代表取締役 齊藤 隆夫(滋賀県) 協栄ビル管理株式会社 代表取締役 丸岡 英枝(京都府)
パナソニックエクセルスタッフ株式会社 代表取締役 須田 勝也(大阪府) 株式会社類設計室 代表取締役 岡田淳三郎(大阪府)
匿名(個人19名 法人5件)

・件数 47件 ・寄付金総額 17,554,000円

2018年度分(敬称略)(2018年4月1日～2018年7月31日)

小松 宏栄(岐阜県) 東谷 智彰(山形県) 福田 淳心(京都府) 福田 大(京都府) 船山 義弘(山形県) 本多佐保美(千葉県)
浄正寺 秦野 恵生(兵庫県) 株式会社フラットエージェンシー(京都府) 匿名(個人8名 団体1件)

・件数 17件 ・寄付金総額 1,470,946円

※本学は文部科学大臣から、特定公益増進法人の証明(所得控除制度)、並びに税額控除に係る証明(税額控除制度)を受けていますので、寄付者の選択により、どちらか一方の税法上の減免税措置を受けることができます。

※キャンパス総合整備・新教室棟建築資金としてご寄付をいただいた方のお名前については、別途寄付者名簿を作成する予定です。

【お申し込み/お問い合わせ先】教育振興資金事務局

京都市北区小山上総町 大谷大学校友センター内 TEL:075-411-8124

2018年度後期 大谷大学「生涯学習講座」のご案内

大谷大学では、本学の知的財産を広く一般社会に公開するため、生涯学習講座を開講しています。2018年度後期は、本学の研究領域を深化させながら学んでいく「開放セミナー」、本学の研究領域を分かりやすく学ぶ「紫明講座」を行います。ぜひ、母校 大谷大学で生涯学習講座をご受講ください。お待ちしております。

開放セミナー

講座名	講師	開講日・時間	定員	会場	受講料	申込締切
シリーズ 親鸞の和讃に学ぶ③ 「浄土和讃」 一浄土三部経のこころ	山田 恵文 大谷大学 准教授	12月19日(水)・1月9日(水) 1月23日(水)・2月13日(水) 2月20日(水) 時間 17時00分～18時30分	100名 (先着順)	大谷大学 真宗総合学術センター「響流館」 3階 メディアホール	6,500円 (税込)	11月27日(火)
隋唐の仏教と社会	礪波 護 京都大学名誉教授 /元大谷大学教授	10月10日(水)・10月17日(水) 10月31日(水) 時間 16時00分～17時30分	100名 (先着順)	大谷大学 真宗総合学術センター「響流館」 3階 メディアホール	4,000円 (税込)	9月19日(水)
しまいまで、おもしろおまっせ、 西鶴は! —『世間胸算用』、 おさらい。—	沙加戸 弘 大谷大学 名誉教授	10月4日(木)・10月11日(木) 10月25日(木)・11月1日(木) 11月29日(木)・12月13日(木) 時間 16時20分～17時50分	100名 (先着順)	大谷大学 真宗総合学術センター「響流館」 3階 メディアホール	8,000円 (税込)	9月19日(水)

紫明講座

講座名	講師	開講日・時間	定員	会場	受講料	申込締切
シリーズ 人物からみた仏教③ 龍樹の生涯と思想	山本 和彦 大谷大学 教授	10月16日(火)・10月23日(火) 11月6日(火) 時間 16時30分～18時00分	100名 (先着順)	大谷大学 真宗総合学術センター「響流館」 3階 メディアホール	4,000円 (税込)	9月25日(火)
その子どもの発達と 個性・特性に寄りそう	井上 和久 大谷大学 准教授	11月27日(火)・12月4日(火) 12月11日(火) 時間 17時30分～19時00分	100名 (先着順)	大谷大学 真宗総合学術センター「響流館」 3階 メディアホール	4,000円 (税込)	11月6日(火)
家族介護を考える 一大介護時代と ケアコミュニティの未来	大原 ゆい 大谷大学 講師	1月15日(火)・1月22日(火) 1月29日(火) 時間 16時30分～18時00分	100名 (先着順)	大谷大学 真宗総合学術センター「響流館」 3階 メディアホール	4,000円 (税込)	12月11日(火)
インドの仏教と日本の仏教 —相違点と共通点—	岸野 亮示 大谷大学 任期制助教	11月7日(水)・11月14日(水) 11月21日(水) 時間 18時00分～19時30分	100名 (先着順)	大谷大学 真宗総合学術センター「響流館」 3階 メディアホール	4,000円 (税込)	10月17日(水)

【パンフレット請求・申込方法】

*パンフレットの送付を希望される場合は、①～④をご記入のうえ、以下の申込・お問い合わせ先へハガキ・FAX・E-mailのいずれかでご連絡願います。

①氏名・フリガナ ②郵便番号・ご住所 ③電話番号 ④生涯学習講座パンフレット送付希望

*受講ご希望の方は、(ア)～(コ)を明記のうえ、ハガキ・FAX・E-mailのいずれかでお申込ください。

(ア)氏名・フリガナ (イ)郵便番号・ご住所 (ウ)電話番号 (エ)携帯電話番号 (オ)メールアドレス (カ)生涯学習講座申込

(キ)講座名 (ク)年齢 (ケ)性別 (コ)職業

*①～③ならびに(ア)～(オ)の個人情報、手続書類や今後の講座の案内送付、受講時の緊急連絡のために使用いたします。また、(ク)～(コ)は、今後の講座企画の参考データとして利用いたしますので、差支えない範囲でご記入ください。

*申込が多数の場合、申込締切日以前であっても、受付を終了する場合があります。あらかじめご了承ください。

【申込・お問い合わせ先】

大谷大学 教育研究支援課 MU係 〒603-8143 京都市北区小山上総町 電話(075)411-8161 FAX(075)411-8162 E-mail o_semi@sec.otani.ac.jp

ミュージアムグッズ販売中

博物館が所蔵している貴重な資料をデザインしたグッズを販売しています。各種行事等にご利用ください。地方発送等も承ります（送料別）。下記以外にもグッズの種類は多数ございます。詳細は大学ホームページでご確認ください。http://www.otani.ac.jp/kyo_kikan/museum/
お問い合わせ・お申し込みは博物館（電話：075-411-8483）まで。

◆「クリアファイル」



左より:貝葉包布
延寿命除苦観音菩薩像(敦煌画模本)
燈指因縁経(神護寺経)
尋源館をデザインに使用

1枚 150円
(4種類お買い上げで500円)

◆「ポストカード」



(左上)貝葉
(左下)京大絵図
(中央)蓮如上人詠草
(右上)北京版西藏大蔵経
(右下)打敷

1枚 50円
(5枚お買い上げで200円)

◆「ミニタオルハンカチ」



打敷をデザインに使用
1枚 400円
(2枚以上お買い上げで
2枚目から 350円)

◆「プレゼント用ケース」
1個 50円

◆「ノート型付箋セット」



源氏物語屏風を
デザインに使用

1個 500円

《2018(平成30)年度 大谷大学博物館開館情報》

特別展 飛騨真宗の伝流—照蓮寺高山移転430年—

会 期 10月12日(金)～11月28日(水)
休 館 日 日曜日・月曜日
※ただし11月19日(月)、25日(日)、26日(月)は開館
開館時間 10:00～17:00(入館は16:30まで)
観 覧 料 500円(同窓生・会友の方は無料)

冬季企画展 アジアの仏教典籍(仮)

会 期 2019年1月8日(火)～2月9日(土)
休 館 日 日曜日・月曜日・1月19日(土)
開館時間 10:00～17:00(入館は16:30まで)
観 覧 料 無料

大谷大学博物館 〒603-8143 京都市北区小山上総町 TEL:075-411-8483
http://www.otani.ac.jp/kyo_kikan/museum/

同窓生・会友以外の方もお使いください
特別展
招待券
大谷大学博物館

有効期間: 2018年10月12日(金)
～11月28日(水)
(各館入館無料)
同窓会費 無償
No. 143

ゼミ・クラス等同期会OB・OG会

大谷大学短期大学部仏教科昭和45年度卒業クラス会（2017.6.21～22）
昨年30年ぶりに同窓会を開き、本年度も有馬温泉で催しました。次回お
会いするのを楽しみにしています。



昭和51年度入学
大谷大学4学寮+尾州寮
合同同期会
(2017.7.30)
1976(昭和51)年入学の同期生が
還暦を迎える記念も兼ねて集い
ました。洗心・育英・下鴨・自
灯に加え、尾州寮の同期生も集
まり、たいへんぎやかな会に
なりました。



昭和45年度入寮 育英学寮同期会（2017.8.8）
今春還浄した佐々木信昭君の追弔会を岐阜県安八町牧の圓長寺にて厳修。
入院中のメンバーを見舞った後、懇親会にて旧交を温めた。



2005年3月卒業 谷口ゼミ ティーパーティー（2017.8.19）
ママになっていたりバリバリ働いていたり、それぞれの生活はあるけれ
ど、こうやって集まると大学時代にタイムスリップしたように、おしゃ
べりがはずみずみまた集まろう!!

<p>文栄堂</p> <p>〒604-8091 京都市中京区寺町通三条上る FAX 075-2315243 E-mail buneidou@f7.so-net.ne.jp</p>	<p>講讚 浄土論註 第五卷</p> <p>延塚知道 著 定価 三、〇〇〇円十税</p>	<p>講讚 浄土論註 第一卷〜第四卷</p> <p>延塚知道 著 定価各二、八〇〇円十税</p>	<p>臘扇（ろうせん）</p> <p>水島見一 著 清沢満之聞敬録</p>	
	<p>帰命の生活</p> <p>水島見一 著 定価 一、四〇〇円十税</p>	<p>如来に芝居させられていた人生</p> <p>水島見一 著 定価 一、六〇〇円十税</p>	<p>苦勞はいいもんや</p> <p>水島見一 著 定価 一、八〇〇円十税</p>	<p>聞法の生活</p>



谷口ゼミ 卒業12年ぶり同窓会（2005年3月卒業）（2017.8.19）
卒業から12年経ったけど、あの頃と変わらない谷口先生とみんなの笑顔！
近況報告もでき、楽しい時間でした。



大谷大学 知真学寮第4期同窓会 (2017.8.19~20)
残暑厳しい時期でしたが、金沢市内の「ゆめのゆ」で、知真学寮第4期生の同窓会を開催しました。石橋義秀学寮長と、13名の学寮生が久しぶりに集まり、楽しく賑やかに過ごすことができました。



古田ゼミ同窓会「浄影会」(2017.8.26)
古田先生をお迎えしての同窓会。先生のお話を拝聴し、皆ひととき学生時代に戻ることができました。また来年8月にお会いしましょう。



道交会(柔道部OB・OG会)(2017.8.27)
今年は、参加が少なかったですが、懇親会には2名合流して盛り上げました。
次回は、皆様の参加を待っています。



片野寮監傘寿祝賀会 兼 育英寮昭和41年入寮同期会 (2017.8.28~29)
古希を迎えた今回は、片野寮監先生の傘寿祝賀会として先生の地元大垣での開催です。併せて5人の物故者の追悼会を満福寺(大垣市墨保町)で厳修しました。
参加者16名が半世紀前に戻ったひと時を過ごしました。



下鴨学寮昭和43年入寮生の会 (2017.8.28~30)
今年度は8月28日~30日に開催しました。6名の参加と少し淋しかったですが、浅草、日光などを巡り、旧交を暖めました。



大谷大学育英学寮昭和46年入寮 同期会 (2017.9.4~5)
石川県加賀市の片山津温泉「佳水郷」で10名の参加で、3年ぶりに開催。次回は3年後、谷大で物故者の追悼法要も厳修予定。



能楽部 (1969~72年) OB・OG会 (2017.9.15~16)
湖西キャンパスセミナーハウスに於いて谷大能楽部
(1969~72年卒業生) のOB・OG会を開催しました。

1974年度入寮 自灯学寮8期生 同期会 (2017.9.10)
卒業以来、初めての寮の同期会を開催しました。寮監の
片野先生も来られ、40年前にタイムスリップしたような
楽しいひとときでした。



一楽真先生選暦講演・祝賀会 (2017.9.16)
台風が心配でしたが、文学部のゼミ生全世代が集
合し、一楽先生の選暦の御祝いをしました。大谷
大学尋源講堂で「真宗のすくい」という題で講演
をしていただき、京都ホテルオークラにて祝賀会
を行いました。世代を超えた交流もでき、大変有
意義な時間を過ごすことができました。



混声合唱団OB・OG総会 (2017.9.23)
懐かしい尋源館でOB・OG総会を開催。東京からの
参加者も。会議後、来年の創団50周年記念演奏会
の練習。年代を越え、声を合わせました。



2017年度 卓球部 後援会・
懇親会・卓球大会
(2017.9.30)
三牧先輩の法務大臣表彰受賞に
対し後援会からも御祝させてい
ただきました。のべ65名の方々
にご参加いただきました。



スキー競技部 OB・OG会 (2017.9.30)
本年度は14名のOB・OGの方に集まっていただき、有意義な会になりました。来年もたくさんの方々に参加いただきたいと思います。



平成29年度直心行射会 (2017.9.30)
今年も例年の通り、直心行射会ならびにOB・OG総会・懇親会を開催いたしました。現役諸氏の協力あつての事です。



安富信哉先生(間慶院釈信哉)追悼会 (2017.10.7)
安富ゼミ同窓会(三帰会)と宗門関係者が発起人となり、先生と縁のあった約130名の参加者のもとで追悼会が粛々と執り行われました。



安富ゼミ(1999年卒業)同期会 (2017.10.7)
安富信哉先生の追悼会が、三帰会と宗門関係者の皆様を中心に執り行われた後、1999年卒業生による同期会を開催しました。夜が更けるまで先生との思い出話を語り合いました。



大谷大学 尺八部・箏曲部 OB・OG会「添川君を偲ぶ会」(2017.10.9)
真宗大谷派名古屋別院にて開催いたしました。34名集まりました。今回のOB・OG会は昭和46年入学の尺八部員、添川浩史さんが今年4月14日にご逝去されたことによるものです。



第6回 1986年入学 体育会 同期会 (2017.10.14~15)
同期生の生誕約半世紀記念と称し、性懲りもなく開催。京町家の宿を一軒借りきり、各地の名酒を持ち寄って呑み語り合いました。



大谷大学国文学会 懇親会 (2017.10.21)
今年は京都市中京区の「凜」で行いました。11名が参加し、講演で取り上げられた泉鏡花のことなどについて、話がはずみました。



佐々木令信先生を偲ぶ教え子の会 (2017.11.25)
七回忌にあたる本年、奥様にも御臨席をいただき、先生を偲びつつ、しめやかな中にも温かなひとときを過ごさせていただきました。



1973年卒業 大谷大学短期大学部幼児教育科花の6期生 日下部先生をお迎えして (2017.12.17)
祝65才を記念して慶開館4F フリースペースをお借りし日下部先生をお招きし浦島太郎になった様で景色に友人に嬉し涙した。



2009年度卒業 織田ゼミ同期会 (2018.1.18)
皆さんと久しぶりの再会となり、近況を報告し合うなど、楽しく有意義な時間を過ごしました。



廣瀬 泉先生を偲ぶ集い 一七回忌によせて (2018.2.1)
大阪の廣瀬ゼミと教学研修院修了者有志主催で三木彰円教授を迎えて難波別院で開催された。



2013年卒業 小川 健一ゼミ 同期会 (2018.2.10)
卒業してから数年が経ち、初めて同期会を開催しました。全員出席で、お互いの近況を報告しながら楽しい時間を過ごしました。



大谷大学バドミントン部 追い出しコンパ 練習会 (2018.2.10)
毎年2月の土曜日に追い出しコンパを開催しておりますので、皆様のご参加ご支援をよろしくお願い致します。



2005年度 短期大学部仏教科 同窓会 (2018.2.11)
12年ぶりに、再会したメンバー18人。新校舎の見学もするはずでしたが、全員会場から動かず・・・昔話で大いに盛り上がりました。次回は3～5年後かな？ご飯が好評だったので次回もお願いします。



齋藤望先生を囲む会 (2018.2.24)
歴史ミュージアムコースや博物館学課程の卒業生が集い、先生を囲む楽しいひとときをすごしました。



大谷大学バドミントン部 OB・OG会 親睦会 (2018.3.3)
毎年3月の土曜日に親睦会並びにOB・OG会を開催しておりますので、皆様のご参加ご支援をよろしくお願い致します。



1984年入寮 知真学寮1期生 同期会 (2018.3.6)
今年は、京都で開催することができました。お忙しい中、織田顕祐先生にお越しいただきました。来年は、4月22日、東京での開催です。



若鷺会 昭和50年入寮 育英学寮同期会 (2018.3.8~9)
まさに未来に向かって飛び立とうとする27名の若き鷺たちと共有した1年間は、生涯忘れ得ぬ出来事として、40年経った今もそれぞれの心の中に深く刻み込まれています。



草野顕之先生を囲む会 (2018.3.10)
2017年度末をもってご退職される草野顕之先生を囲む会を開催しました。アメリカ、九州・東北など遠方から多くの方々にご参加いただき、これまでのご指導への感謝をお伝えする場となりました。



2015年度・2016年度卒業 福島ゼミ (大学院) 同窓会 (2018.3.25)
滋賀県内にて同窓会を開催。それぞれの近況報告等を含めて、楽しい時間を過ごすことができました。



大谷大学短期大学部1965年入学同期生同窓会 (2018.5.8~9)
大谷大学短期大学部仏教科・国文科 1967年卒業同期生同窓会 50年最後の集い 京都にて



大谷大学育英学寮32会北信越の集い (2018.5.10~11)
親鸞聖人ご流罪の地を中心に拝観と研修のため諸所を廻りました。ご流罪とは何かと同時に浄土真宗とは今、問われています。



大谷大学 硬式野球部 OB会 (2018.5.13)
予定していたリーグ戦の観戦は憎悪の雨のため中止となりましたが、OB会総会に9名、懇親会に17名が集いました。今後の現役諸君の奮起を期待しつつ、和やかに時間を過ごしました。



1989年入学 知真学寮同期会 (2018.5.19)
学寮長佐々木令信先生の七回忌法要を尋源講堂にて勤修。その後、学内見学。場所を移して懇親会。有意義な時間を過ごせました。



大谷大学仏教青年会OB・OG会1970~77年入学生
鍵主良敬先生出版をお祝いする会 (2018.5.30)
鍵主良敬先生新刊本『近代真宗教学徒生論の真髓』の出版をお祝いし、先生から本についてお話し載きました。



2011年卒業 真宗学科加来雄之ゼミ 同期会 (2018.6.2)
毎年京都で開催しています。今年も学友と再会できることを喜びまた来年開催できることを願っております。



大谷大学短期仏教科昭和43年卒業 同期会 (2018.6.5~6)
姫路、船場御坊と加古川、鶴林寺、法然上人ゆかりの十輪寺等参拝。今回参加者8名(内奥方3名)急な欠席者3名でした。



1972~1975年入寮下鴨学寮 同期会 (2018.6.8~9)
還暦をご縁として、卒業生が集まる事になりました。第1回目は大阪、2回目は金沢、そして今回、新潟で旧交を温めました。「曾我量深記念館」を拝観し、午後より白根大風合戦に参加。有意義なひとときを過ごすことが出来ました。次回は2年後、京都・大谷大学で集うこととなりました。



2001年卒業 藤島ゼミ 同窓会 (2018.6.9)
京都で久しぶりに同窓会を開催しました。お元気の藤島先生に会え、昔話で盛り上がり、楽しいひとときでした。



第42回 浄眼洞 (山田亮賢先生門下生の会) 一夜研修会 (2018.6.9~10)
今年は、尋源館に集合しました。同人鍵主良敬氏の最新著作「近代真宗教学往生論の真髓」を通して、真宗教学の本質的な意味を語り合いました。曾我量深先生の法蔵菩薩論を学びたい人は必読です。一応、日本語で書かれていますが相当手強いですよ。



昭和38年~昭和44年入学 児童教化研究会
同窓の集い (2018.6.15)
グランドプリンスホテル京都に於いて「児童教化研究会(昭和38年入部~昭和44年入部)同窓の集い」を35名の参加を得て実施致しました。集いに先立って谷大講堂において、7名の学友の「物故者追悼法要」を行い、そのあと、このたび整備された新教室棟「慶聞館」を見学し、装い新たになった施設に感激したことであります。同窓の集いでは、当時の話題に花が咲き、楽しいひと時を過ごしました。

大谷大学剣道部講武会
(2018.6.16)
まず追申会を勤め、その後に現役学生とOB・OGとで合同稽古を開催しました。また、懇親会には白井名誉顧問もご出席いただき、思い出話を花を咲かせることができました。



北申会還暦記念同窓会 (2018.4.26~27)
還暦記念と会のみため役松岡満雄師を偲んで、久しぶりに開催しました。北申会とは、1975年に大谷大学に入学した北海道にゆかりのある仲間です。おもに申年が主であったため、北海道の申歳の会ということで命名され、教化、情報交換を行っています。



雲の糸 (1968年入学 雲井昭善クラス) (2018.6.21)
昨年12月5日に逝去された雲井先生を偲び、物故会員の追悼会の後、入学から50年間の思い出を振り返りながら親交を深めました。



1974 (昭和49) 年入学 短期仏教科 同期会 (2018.6.26)
粟津温泉で古田先生を含め10名の参加で開催致しました。次回は京都で開催を約束して、御開きとなりました。



昭和43年入寮 3学寮 (洗心・育英・下鴨) 50周年記念同期会 (2018.6.29)
大学講堂にて小川・片野両元寮監に、臨席賜り仲間14名の追悼会を催し祝宴では「50周年ではまだまだ」の激励を受け次回への決意を新たにしました。



大谷大学尺八部創部100周年を祝う会 (2018.6.30)
大先輩である加藤栖山先生が1918年に尺八部を創部してから100周年。その間、日本、そして、大谷大学は、激動の歴史を歩んできました。一度も途切れることなく尺八部が続いてきたのは、諸先輩方のおかげです。すべてに感謝を込めての演奏会でした。



大谷大学短期大学部幼児教育科平成元年卒業同期会 (2018.7.1)
卒業して30年目。記念すべきこの年に開催し卒業生の1/3ほどの人数が参加しました。大いに盛り上がりました。

2018年3月卒業 短期大学部幼児教育保育科 同期会 (2018.7.15)
3月に卒業した仲間たちが久しぶりに集まりました。仕事の話をしたり日々の疲れも癒される楽しい時間でした。



ゼミ・クラス等同期会、OB・OG会開催一覧

開催日時	会 合 名	開催日時	会 合 名	開催日時	会 合 名
2017.06.21(水) ～22(木)	大谷大学短期大学部仏教科 昭和45年度卒業クラス会	2017.10.07(土)	安富ゼミ(1999年卒業)同期会	2018.05.10(木)	大谷大学育英学寮32会
2017.07.30(日)	昭和51年度入学 大谷大学4学寮 +尾州寮 合同同期会	2017.10.09(月)	大谷大学 尺八部・箏曲部 OB・OG会「添川君を偲ぶ会」	～11(金)	北信越の集い
2017.08.08(火)	昭和45年度入寮 育英学寮同期会	2017.10.14(土)	第6回 1986年入学 体育会 同期会	2018.05.13(日)	大谷大学 硬式野球部 OB会
2017.08.19(土)	2005年3月卒業 谷口ゼミ ティーパーティー	～15(日)		2018.05.19(土)	1989年入学 知真学寮同期会
2017.08.19(土)	谷口ゼミ 卒業12年ぶり同窓会 (2005年3月卒業)	2017.10.21(土)	大谷大学国文学会 懇親会	2018.05.30(水)	大谷大学仏教青年会OB・OG会 1970～77年入学生
2017.08.19(土)	大谷大学 知真学寮第4期同窓会 ～20(日)	2017.11.25(土)	佐々木令信先生を偲ぶ教子会の会		鍵主良敬先生出版をお祝いする会
2017.08.26(土)	古田ゼミ同窓会「浄影会」	2017.12.17(日)	1973年卒業 大谷大学短期大学部 幼児教育科 花の6期生	2018.06.02(土)	2011年卒業 真宗学科加来雄之ゼミ 同期会
2017.08.27(日)	道交会(柔道部OB・OG会)	2018.01.18(木)	2009年度卒業 織田ゼミ同期会	2018.06.05(火)	大谷大学短期仏教科 ～06(水)
2017.08.28(月)	片野寮監傘寿祝賀会 兼 ～29(火)	2018.02.01(木)	廣瀬 果先生を偲ぶ集い ——七回忌によせて——	2018.06.08(金)	1972～1975年入寮下鴨学寮 同期会
2017.08.28(月)	下鴨学寮昭和43年入寮生の会 ～30(水)	2018.02.10(土)	2013年卒業 小川 健一ゼミ 同期会	2018.06.09(土)	2001年卒業 藤島ゼミ 同窓会
2017.09.04(月)	大谷大学育英学寮昭和46年入寮 ～05(火)	2018.02.10(土)	大谷大学バドミントン部 追い出しコンパ 練習会	2018.06.09(土)	第42回 浄眼洞 (山田亮賢先生門下生の会)一夜研修会
2017.09.10(日)	1974年度入寮 自灯学寮8期生 同期会	2018.02.11(日)	2005年度 短期仏教科 同窓会	2018.06.15(金)	昭和38年～昭和44年入学 児童教化研究部 同窓の集い
2017.09.15(金)	能楽部(1969～72年)OB・OG会 ～16(土)	2018.02.24(土)	齋藤望先生を囲む会	2018.06.16(土)	大谷大学剣道部講武会
2017.09.16(土)	一楽真先生遺稿講演・祝賀会	2018.03.03(土)	大谷大学バドミントン部 OB・OG会 親睦会	2018.06.21(木)	雲の糸(1968年入学 雲井昭善クラス)
2017.09.23(土)	混声合唱団OB・OG総会	2018.03.06(火)	1984年度入寮 知真学寮1期生 同期会	2018.06.26(火)	1974(昭和49)年入学 短期仏教科 同期会
2017.09.30(土)	2017年度 卓球部 後援会・懇親会・卓球大会	2018.03.08(木)	「若鷲会」昭和50年入寮 育英学寮同期会	2018.06.29(金)	昭和43年入寮 3学寮(洗心・育英・ 下鴨)50周年記念同期会
2017.09.30(土)	スキー競技部 OB・OG会	2018.03.10(土)	草野颯之先生を囲む会	2018.06.30(土)	大谷大学尺八部創部100周年を祝う会
2017.09.30(土)	平成29年度直心行射会	2018.03.25(日)	2015年度・2016年度卒業 福島ゼミ(大学院)同窓会	2018.07.01(日)	大谷大学短期大学部幼児教育科 平成元年卒業 同期会
2017.10.07(土)	安富信哉先生(開慶院釈信哉) 追悼会	2018.04.26(木)	北申会遷履記念同窓会 ～27(金)	2018.07.15(日)	2018年3月卒業 短期大学部幼児教育保育科 同期会
		2018.05.08(火)	大谷大学短期大学部1965年入学 同期生同窓会 ～09(水)		

開催をお世話いただく幹事さんへ

◆「ゼミ・クラス等同期会」「OB・OG会」等を開催されるときは、事前にご連絡ください！

事務局は、大谷大学「尋源館」2階にあります

大谷大学同窓会本部事務局 (大谷大学総務部「校友センター」内)

<連絡先>TEL: 075-411-8124 (直通)

FAX: 075-411-8157 (直通)

E-mail: kouyu@sec.otani.ac.jp

※電話・FAX・メール等、ご都合の良い手段でご連絡ください。

◆まずは、開催1か月前までに「同期会届」「OB・OG会届」をご提出ください。

◇「同期会」としてお届けいただくためには、その団体の全対象者にご案内をされていることが前提となります。

◇クラブの「OB・OG会」は、すべての年度の卒業生を対象としてご案内ください。

◇「開催届」の提出と上記の内容を満たしている団体には、通信費の一部として「開催助成費」を補助しています。

◆同窓会本部事務局では、こんなお手伝いができます。

1. 申請により、連絡用名簿・宛名ラベルを提供することができます。

◇「同窓会本部への申請書 提出」より「名簿・宛名ラベルのお届け」までは、1週間～10日程度かかります。
(事務の都合上、それ以上かかる場合もございます。)

2. 大学の施設を、同期会の会場として利用できます。

◇授業・大学行事等の関係上、利用できない場合があります。

利用を希望される場合は、日程等を決定する前に、同窓会本部事務局へご相談ください。

3. ホームページ「無盡燈」に開催予定・報告を掲載します。

同窓会報『無盡燈』には、写真とともに開催結果を掲載します。

「ゼミ・クラス等同期会」「OB・OG会」についての詳細は、
同窓会本部事務局までお気軽にお問合せください。

本部報告

2018年度 同窓会総会開催（報告）

2018年5月9日(水)午後1時30分より、博綜館第1会議室において、本年度の同窓会総会が開催されました。

議長には広島支部長の安本浩樹氏が選出され、各議案について活発な審議をいただき、それぞれ承認を得ました。

議題

(1)2017年度「事業報告」および「収支決算報告」(下記「収支決算書」参照)

事務局より、「事業報告」と「収支決算報告」について報告を行い承認されました。また、事務局か

らの報告を受けて、長谷岡英信監事から監査報告がありました。

(2)2018年度「事業計画」および「収支予算(案)」(下記「収支予算書」参照)

(3)同窓会基金の使用について

事務局より、「事業計画」と「収支予算(案)」について、提案内容の説明を行いました。また、同窓会基金の使用について、会報『無盡燈』新教室棟「慶聞館」竣工特別号の刊行費・発送費に充てるため同窓会基金の一部(150万円)を取り崩して予算を編成したい旨、提案を行いました。

以上の提案をうけて、議題(2)・(3)を一括審議し承認されました。

(4)最終年度の本部キャンパス総合整備・新教室棟建築資金募金活動について

(5)同窓会活動の活性化について
宮崎常務理事(学監・副学長)より、大学の現況として2018年度入

学試験の状況や仏教教育センターの開設等が報告されました。また、岡本常務理事(学監・事務局長)より、本部キャンパス総合整備・新教室棟建築資金募金への協力に対する御礼と、慶聞館竣工式から入学式までの期間、寄付者のご芳名を慶聞館内に掲示したことが報告されました。

本部キャンパス総合整備・新教室棟建築資金募金の支部別納入状況(2018年4月末現在)、各支部の募金活動状況等について本部事務局から報告を行い、現時点で募金目標額の約55%であることを説明し、継続して更なる募金活動を行うことをお願いしました。また、同窓会活性化事業、同窓会ホームページ「無盡燈」の充実化などについて事務局から説明を行いました。

以上の報告・説明をうけて、議題(4)・(5)を一括して審議した結果、同窓会として本部キャンパス総合整備・新教室棟建築資金募金の目標額達成を目指して活動を継続することと、同窓会活性化事業について承認されました。

報告事項

1. 2017年度同窓会災害対応について

事務局より、2017年度に発生した大雨等による災害対応について報告がなされました。大雨等により「災害救助法適用地域」の同窓会員には見舞状を送付したが、福井県・新潟県の大雪については郵便事情が混乱していたため見舞状を送付せず、同窓会ホームページに見舞記事を掲載したとの報告がなされました。

2. 特定非営利活動法人尋源舎の活動について

NPO法人尋源舎の一楽真理事(同窓会理事長)より、尋源舎の現状について報告がなされました。

2017年度
大谷大学同窓会本部収支決算書

【収入の部】		(単位 円)
科 目	決算額	
1. 前年度繰越金	7,675,660	
2. 会 費	24,294,000	
会費(1)	1,554,000	
会費(2)	22,740,000	
3. 入 会 金	3,790,000	
4. 寄 付 金	962,000	
5. 同窓会基金取崩収入	0	
6. 雑 収 入	941,272	
7. 同窓会運用資金	22,000,000	
合 計	59,662,932	

【支出の部】

【支出の部】		(単位 円)
科 目	決算額	
1. 事 業 費	11,062,539	
本部事業費	4,249,111	
支部事業助成費	3,652,300	
同期会・OB会等開催助成費	510,000	
学生会助成費	500,000	
新入会員歓迎費	2,151,128	
2. 刊 行 費	3,135,932	
無盡燈刊行費	2,577,914	
印刷製本費	558,018	
3. 事 務 費	3,569,923	
本部事務局費	3,482	
活動費	380,000	
通信費	3,186,441	
4. 旅 費	5,776,925	
5. 会 議 費	1,031,458	
6. 委 託 費	1,724,620	
7. 雑 費	224,006	
8. 同窓会基金繰入支出	72,548	
9. 同窓会活性化準備金	1,428,502	
10. 同窓会運用資金繰入支出	25,000,000	
11. 予 備 費	0	
合 計	53,026,453	

2018年度
大谷大学同窓会本部収支予算書

【収入の部】		(単位 円)
科 目	予算額	
1. 前年度繰越金	6,636,479	
2. 会 費	21,840,000	
会費(1)	1,440,000	
会費(2)	20,400,000	
3. 入 会 金	3,400,000	
4. 寄 付 金	1,000,000	
5. 同窓会基金取崩収入	1,500,000	
6. 雑 収 入	770,521	
7. 同窓会運用資金	25,000,000	
合 計	60,147,000	

【支出の部】

【支出の部】		(単位 円)
科 目	予算額	
1. 事 業 費	12,500,000	
本部事業費	4,390,000	
支部事業助成費	3,710,000	
同期会・OB会等開催助成費	600,000	
学生会助成費	500,000	
新入会員歓迎費	3,300,000	
2. 刊 行 費	3,045,000	
無盡燈刊行費	2,610,000	
印刷製本費	435,000	
3. 事 務 費	3,846,000	
本部事務局費	120,000	
活動費	380,000	
通信費	3,346,000	
4. 旅 費	6,410,000	
5. 会 議 費	1,510,000	
6. 委 託 費	1,800,000	
7. 雑 費	380,000	
8. 同窓会基金繰入支出	72,000	
9. 同窓会活性化準備金	5,400,000	
10. 同窓会運用資金繰入支出	25,000,000	
11. 予 備 費	184,000	
合 計	60,147,000	

2017年度から収益事業は休止しており、2018年度についても主たる事業のみを行う予定であるとの報告がなされました。

議案の審議に先立ち、昨年と同窓会総会以降に交代があった役員及び本部事務局員について、岡本学同窓会本部事務局長より以下のとおり報告がなされました。

○常務理事／

教育・学生支援担当副学長

2018.3.31付 渡辺啓真退任

2018.4.1付 井上尚実就任

○常務理事／学監・事務局長

2017.6.30付 寺西龍水退任

2017.7.1付 岡本学就任

○常務理事／総務部事務部長

2017.5.31付 古角智子退任

2017.6.1付 中島弘喜就任

○本部事務局課長／

総務部校友センター課長

2017.5.31付 藤谷徳孝退任

2017.6.1付 植垣光弘就任

大谷大学同窓会
「第22回ホームカミングデー」
開催報告

「第22回ホームカミングデー」を、学園祭期間中の2017年11月11日(土)に開催いたしました。当日は、名誉教授やご退職になられた



会場前の風景



会場内の風景

先生方、専任教員など36名の先生方にご出席いただき、同窓生ならびに会友の皆様と合わせて約230名のご参加がありました。また、同窓会の役員や支部長もご出席くださいました。なお、今回もホームカミングデーの運営には、同窓生9名の方々にご協力いただきました。



木越学長挨拶



恩師との再会

2017年4月、「Be Real- 寄りそう知性」という大谷大学を象徴する新メッセージが作成されました。仏教でいう「真実」、目の前の「現実」の二つの意味を込めたメッセージです。今年度のイベントでは、この新メッセージをタイトルに、スタンプラリー「Be Real再発見!!」を企画しました。



イベント風景

スタンプラリーに参加された皆様には、慶間館(1F・2F)と響流館(1F)の博物館内に設置されたポイントなどを回って、学内の様子をご覧いただきました。北エリアは工事途中でありましたが、慶間館と響流館をつなぐ連結ブリッジが姿を見せており、見上げている様子も多く見かけました。

会場内では、同窓会役員ならびに同窓会支部(全国に80ある地域

支部)や、支部長よりお贈りいただきましたご当地のお品をご披露し、スタンプラリーに参加された先生方や同窓生の皆様に贈呈させていただきました。名品の数々は、参加された皆様に大変好評を博しました。ご協力くださいました同窓会地域支部の皆様、心より感謝申し上げます。



景品交換



ホームカミングデーの終了後、今年度の特別企画「われら40代!ここにあり!」と「職域同窓会『教職』ひろがるつながる大谷教職の“わ”」を開催いたしました。「われら40代!ここにあり!」は今回で3回目の開催となり、多くの同窓生の方々がご出席され、同世代どうし、意気投合し、盛りあがっていました。また、「職域同窓会『教職』ひろがるつながる大谷教職の“わ”」は今年度はじめて開催し、



われら40代!ここにあり!

教師として活躍されている卒業生と、教職を目指す学生たちにも参加していただき有意義な交流がもたれました。



職域同窓会「教職」ひろがるつながる大谷教職の“わ”



また、今年度も同窓会京都支部が学園祭の模擬店に出店し、手作り念珠の販売を行いました。My念珠を作れるということで、多くの方が来店されました。



京都支部の模擬店

2017年度「卒業・修了 ならびに同窓会新入会員 歓迎祝賀会」開催（報告）

2018年3月16日（金）に2017年度「卒業証書ならびに学位記授与式」が挙行され、式典終了後の16時30分よりグランドプリンスホテル京都において、「大谷大学卒業・修了ならびに同窓会新入会員歓迎祝賀会」が開催されました。

この祝賀会は、卒業・修了をお祝いする「祝賀の会」であるのと同時に、「大谷大学同窓会」へのご入会を歓迎する「歓迎会」としての意味を込めて、「大谷大学」と「大谷大学同窓会」が共催する祝宴です。

木越康学長、石橋義秀同窓会長の祝辞の後、今年度の学生支援表彰「菩提樹賞」の表彰が行われました。その後、卒業・修了生を代表して文学部仏教学科の中田創さんが挨拶と乾杯の発声を行い祝宴が始まりました。また、短期大学部幼児教育保育科卒業生全員による合唱や、卒業生・教職員有志による寮歌を披露していただき、祝賀会は大変盛りあがりを見せました。



学生・修了生代表中田創さん 乾杯発声

学生生活も最後となるこの日、一時を惜しむかのように和やかな雰囲気の中、恩師そして友だちとの語らいが続けられていました。



歓談の様子



2017年度 同窓会学生支援 表彰「菩提樹賞」の表彰式を 行う

3月16日（金）に開催されました「大谷大学卒業・修了ならびに同窓会新入会員歓迎祝賀会」において、同窓会学生支援表彰「菩提樹賞」の表彰が行われました。

この「菩提樹賞」は、同窓会が学術・文化・スポーツ・ボランティア活動などの分野で、顕著な成績や多大な成果を収め、大谷大学の発展に貢献した学生または課外活動団体を表彰し、学生生活の充実に資することを願って贈るものです。

今回は、スポーツ分野で文学部国際文化学科ご卒業の池口風沙さんが表彰され、文化分野で人文情報学科の松川ゼミ生と教育・心理学科の井川ゼミ生で構成された学生有志の団体である、KYOTO駅ナカアートプロジェクト2017大谷大学チームが表彰されました。



石橋会長より表彰

表彰の後、池口風沙さんとKYOTO駅ナカアートプロジェクト2017大谷大学チームを代表して芝井勇翔さんに、スピーチしていただきました。

池口風沙（いけぐち なぎさ）さんは、第1学年時に、第46回全日本大学個人ボウリング選手権大会で7位に入賞され、また第2学年時には、第12回京都府年齢別ボウリング選手権大会において優勝されました。2017年度につきましては、10月14日（土）～15日（日）に開催の「第56回関西ボウリング選手権大会」の4人チーム戦で3位に

入賞されました。また、2018年2月に神奈川県川崎市で開催されました「第49回全日本大学個人選手権大会」には京都府代表として出場しました。その際は、同窓会神奈川支部から花束が贈呈され激励を受け、池口さんも大変喜んでいました。

KYOTO駅ナカアートプロジェクト2017大谷大学チームは、人文情報学科の松川ゼミ生と、教育・心理学科の井川ゼミ生で構成された学生有志の団体として、2012年度から開催されている「KYOTO駅ナカアートプロジェクト」に参加されました。今回の大谷大学チームは、この企画では初めてビデオ作品の上映を行いました。地下鉄鞍馬口駅構内にアート作品「京の四季道」、「京の四季画」、「京の祭り」を展示し、映像作品「桜祭り」、「2017葵祭」などを上映しました。また、紫明小学校児童の協力を得て作品展示を制作したことは地域貢献にもつながり、学・産・官各方面の注目を集め、本学の認知度を高めることに貢献されました。さらに、プロジェクトのプロモーションビデオと参加各大学のメイキングビデオも制作、動画サイトで公開し、本プロジェクトの新機軸を拓いた点は大いに評価されました。

大谷大学の発展に貢献し、他の模範となる活動であるため、このたび表彰されることになりました。

今後、池口風沙さんとKYOTO駅ナカアートプロジェクト2017大谷大学チームの方々が一層活躍されることを期待しています。



受賞者の方々

2018年度「大谷大学・大谷大学同窓会全国縦断 夏季八十講」ならびに支部総会の開催について

今年度も7月から9月にかけて、「大谷大学・同窓会 全国縦断 夏季八十講」ならびに「支部総会」を全国70支部63会場で開催いたしました。

夏季八十講は、全国に80支部ある同窓会支部と大谷大学との共催事業として講演会を開催するもので、同窓生・在学生はもとより広く一般市民にも公開され、地域社会の文化興隆に大きな役割を果たしています。

特に、「大分支部」では、今年度、同窓会が設立母体となるNPO法人「尋源舎」(P.29参照)との共催で、「仏教公開セミナー」として広く市民に開かれて実施されました。



京都支部



金沢支部



大分支部

支部長・事務局交代等のご紹介
ありがとうございました
よろしくおねがいたします

〈岩見沢支部長〉 廣 瀬 智 隆
(前支部長 霜田千代磨)

〈深川支部長〉 旭 正 依
(前支部長 故松岡満雄)
〈岩手支部長〉 杉 村 郁 磨
(前支部長 大石敦彦)
〈神奈川支部長〉 佐々木 健太郎
(前支部長 渡辺 賢)
〈岐阜支部長〉 田 中 仁 見
(前支部長 宮田徳邦)
〈長浜支部長〉 大 野 龍 天
(前支部長 早壽得雄)
〈湖南支部長〉 上 寺 和 親
(前支部長 木村 清)
〈大阪東支部長〉 池 田 大 興
(前支部長 長谷東洋)
〈佐賀支部長〉 野 中 義 文
(前支部長 奥村 豊)
〈神奈川支部事務局〉
柳 澤 徳 正
(前支部事務局 秦 秀人)
〈尾張学友会支部事務局〉
荒 山 優
(前支部事務局 加藤 烈)
〈岐阜支部事務局〉 武 山 昭 見
(前支部事務局 田中 仁見)

敬 弔

大谷大学同窓会の発展にご尽力賜り、多大な功績を残されました前・元支部長のご逝去について、謹んでご報告申し上げます。

前同窓会宮城支部長
白木澤建生氏

2017年12月7日ご逝去

【履歴】

2013年～2017年 同窓会宮城支部長

前同窓会大垣支部長
佐々木舜峰氏

2018年6月15日ご逝去

【履歴】

1997年～2010年 同窓会大垣支部長

前同窓会鳥取支部長
藤本大量氏

2018年4月24日ご逝去

【履歴】

2003年～2014年 同窓会鳥取支部長

前同窓会岡山支部長
丹下信行氏

2018年6月28日ご逝去

【履歴】

2009年～2014年 同窓会岡山支部長

元同窓会郡上支部長
可児賢了氏

2017年8月9日ご逝去

【履歴】

1995年～2005年 同窓会郡上支部長

ここに深甚の謝意を表し、謹んで哀悼の意を表します。

同窓会費の納入について (協力ご依頼)

同窓会事業は、同窓の皆さまにご納入いただく「同窓会費 (終身会費と年会費)」と「寄付金」を活動資金として行われています。

同窓会活動に対してご理解とご支援を賜り、会費と寄付金の納入にご協力いただきますようお願い申し上げます。

1. 同窓会費について

「会員区分」により同窓会費納入の取り扱いが異なっております。まずは、ご自身の会員区分をご確認ください。

会員区分	ご依頼内容
一般会員 ①1990年度以前の卒業・修了生のうち、「終身会員」(以下参照)ではない方	同窓会報『無盡燈』発送時、振込取扱票(振込手数料 無料)を同封し、以下の【A】【B】のいずれかの方法により、会費納入をご依頼しています。 【A】 毎年、「年会費 3,000円」を納入する。 【B】 「終身会費 30,000円」を納入いただき、終身会員に変更する。 <同窓会費専用 振替口座(郵便局/ゆうちょ銀行)> 口座番号 01020-9-20542 加入者名 大谷大学同窓会本部 ※同窓会報『無盡燈』に同封する「振込取扱票(振込手数料無料)」をご利用ください。 ※振込取扱票には、「振込人のご住所・氏名」「卒業・修了年、学部・学科」を必ずご記入ください。
終身会員 ①1991年度以降の卒業・修了生のうち、卒業・修了年時の学費納入時、「終身会費30,000円」を納入した方 ②1990年度以前の卒業・修了生のうち、「 <u>終身会費30,000円</u> 」を納入した方	寄付金の納入に、ご協力をお願いいたします。 (以下参照)

2. 寄付金について

同窓会報『無盡燈』発送時、振込取扱票(振込手数料 無料)を同封し、寄付金の納入をお願いしています。ぜひ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

<お問い合わせ先>
大谷大学同窓会本部
 京都市北区小山上総町 (大谷大学総務部校友センター内)
 電話 075-411-8124 Fax 075-411-8157
 E-Mail kouyu@sec.otani.ac.jp

NPO法人「^{じんげんしゃ}尋源舎」について

NPO法人「^{じんげんしゃ}尋源舎」は、同窓会が設立母体となって、2006年12月に設立した、仏教の公開を目的とした特定非営利活動法人です。尋源舎は、皆さまからの賛助金(一口3,000円)で活動を行っています。

お問い合わせは、大谷大学同窓会本部(TEL: 075-411-8124)まで。



同窓通信

「No music, no life.」

私は現在音楽科の教員として、地元福井の公立中学校に勤務している。地元国立大学の教育学部出身者が多い業界の中で、大谷大学卒はかなり珍しい存在と自負している。

大谷大学での生活を振り返ると、真面目なものから愚行まで数え切れない思い出がよみがえる。1回生の思い出は、なんとといっても貫練学寮での生活と寮生たちとの出会いである。当時は4人一部屋で、ルームメイトが毎日聴いていた長瀬剛はそこで覚えた。寮生活や大学で共に学ぶことを通して生涯の友を得ることができた。現在彼らの多くは住職や別院・教務所の中核として宗門の教化活動を担っている。

2回生からの住まいは廿人講町の重信会館。池田先輩から引き継いだ3階の角部屋で、小窓からは京都タワーのライトアップを独り占めできた。屋上でBBQや花火をし、仏間での報恩講では寺川先生のご講話を正座していただいた。（その後しばらく動けなかった。）風呂無し



の6畳一間で4年間を過ごし、色んなことを考え、そして卒業論文も書いた。修士課程1年

目を終えたところで閉館を告げられ、寮生は全員退館を余儀なくされた。寮監の曾我先輩には真宗学の他に、一人旅の魅力について教えていただいた。

大学での音楽といえば、安富先生（ピアノ）と講堂のステージ上でセッションしたこと、小野先生の「君恋し」やゼミのみんなで歌った「小野ゼミの歌」が思い出深い。小野先生には学問と自分が置かれた立場に真摯に向き合うよう叱咤激励していただき、本当に感謝している。

学科は真宗学科であったが、文学科の英文学の授業を受けながら英語科の教員免許を取得し、帰郷後約10年間英語科教員として教壇に立った。2年前に音楽科の教員免許を取得し、この春からは音楽科教員として毎日奮闘している。部活動は吹奏楽部を担当している。生徒たちは本当に熱心に活動に取り組み、2014、2015年には全日本吹奏楽コンクール全国大会の舞台に立つことができた。

今学校という場で生徒たちと向き合い、共に「生きる」ことを考えるとき、大谷大学での学びと出会いは私の中でかけがえのない立脚地となっている。「生まれた意義と生きる喜び」について、私は今しばらく学校で考える。

武井 晋

（2002年大学院修士課程真宗学専攻修了）



現役教員からのお便り▶▶▶

学びの機会

先日、飲み屋でいっしょに飲んでいた卒業生に「先生、ほくももうすぐ40歳ですよ」と言われて、えたいのしれないなにかに震えました。自分ではいつまでも17歳の高校生をつもり（ふざけるな）でいて、しっかりとは自覚していなかったのですが、卒業生の歳を聞いて、ようやくわが身の老いにも気づいたのでした。どうりで、近頃やけに朝早く目が覚めると思ったわ。

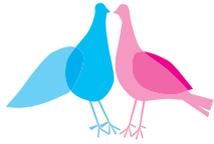
この仕事をしていてつくづく気づいたこと、学んだことがひとつあります。学生の姿をみてようやく自分にも気づくことができるということです。気づく内容は楽しいこともあれば悲しいこともあり、切ないこともあれば嬉

大谷大学教授（西洋哲学・日本哲学）村山 保史

しいこともあるのですが、それは学生からしても同じで、わたしの姿をみながら似たようなことを感じているのでしょう。

卒業生諸君、あれからずいぶん歳月を経た先生に会うこともまた、きっと君たちにとってはわれとわが身について考える学びの機会なのだよ。時間があれば大学に遊びに来るのもよいのかも。そうそう、携帯の電話番号とアドレスは、あのときから変わっていません。





ご結婚おめでとうございます

幸せなご家庭を築かれることを念じ申し上げます。

() 内は最終卒業・修了年〈敬称略〉 ※同窓会本部 7月31日現在 掌握分
結婚式日順

※大谷大学尋源講堂で仏前結婚式をお受けています。

お問い合わせは、総務課(電話：075-411-8163)まで。

福永 光祝	♥	中出 愛里 (2016文)	吉田 光信 (2015文)	♥	小山 愛果
番坂 啓史 (2007文)	♥	前田 寛子	尼崎 皆登 (会 友)	♥	平 侑理恵
岡本 一輝	♥	橋長みさき (2013文)	三池 大地 (2016修)	♥	北本多笑笑 (2016修)
青山 高宏 (2010文)	♥	鈴木 麻世 (2009文)	谷口 慎也	♥	高田 理可 (会 友)
木下 翔吾 (会 友)	♥	山本明日美	村上 帰命 (2013修)	♥	田中 秀美
柿本 遼平 (2008文)	♥	北岡 梓	天山 信楽 (2011修)	♥	粟田 夏子
奥 雅也 (2014文)	♥	福田 歩未 (2014文)	富士澤 悠 (2016修)	♥	山田 真菜
後藤 智道 (2010博)	♥	寺本 真悠 (2008文)	野村 弘道 (2009文)	♥	高橋 法子 (会 友)
村上 良顕 (2013修)	♥	暉 幸	永澤 佳希	♥	稲岡 智子 (2013修)

敬 弔

ご生前のご功勞を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

() 内は最終卒業・修了年〈敬称略〉 年月日は逝去された日付

※同窓会本部 7月31日現在 掌握分
ご逝去された日付・五十音順

直江 圭一 文学部 (1971) 2001.12.27	赤松 基 大学部 (1948) 2017.08.04	長崎 祐正 文学部 (1960) 2017.12.30
本田 祐隆 大学部 (1944) 2004.06.14	釈子 昭文 文学部 (1963) 2017.08.04	渡邊 修 大学部 (1954) 2017.12.31
村上 義顕 文学部 (1964) 2013.11.02	可児 賢了 大専門 (1948) 2017.08.09	江口 貫練 文学部 (1956) 2018.01.03
安藤 昭雄 文学部 (1953) 2014.02.03	木村 大乗 博 士 (1977) 2017.08.20	田中 慶視 修 士 (1970) 2018.01.22
木原 清子 短 期 (1971) 2014.09.12	霧見 紘 文学部 (1965) 2017.08.20	中山 一萱 博 士 (1971) 2018.01.22
朝日 和子 文学部 (1983) 2014.09.19	中川 薫 文学部 (1960) 2017.08.22	佐橋 正司 修 士 (1974) 2018.01.24
杲 昌玄 大専門 (1950) 2014.12.27	菅原 鈞 大学部 (1953) 2017.08.23	越谷 泰夫 大学部 (1943) 2018.01.25
柴田 尚志 文学部 (1993) 2016.02.11	片山 円雄 大学部 (1953) 2017.08.28	古川 円章 短 期 (1952) 2018.01.27
長沢 良宣 短 期 (1963) 2016.05.15	藤井 悟 文学部 (1963) 2017.09.05	森本 昭栄 大予科 (1949) 2018.01.28
土生 重正 大専門 (1938) 2016.07.31	三原 尚 文学部 (1982) 2017.09.06	八田 入敏 短 期 (1960) 2018.02.18
八耳 哲雄 大学部 (1950) 2016.09.24	西 圓明 文学部 (1958) 2017.09.13	杉山 惺 短 期 (1962) 2018.02.22
堀口 禎則 文学部 (1986) 2017.03.01	藤原 昭然 短 期 (1955) 2017.09.16	今村 啓之 修 士 (1978) 2018.02.26
首藤 静雄 文学部 (1958) 2017.03.10	毛利 成男 大学部 (1953) 2017.09.27	坂本 宗久 短 期 (1978) 2018.03.03
柳原 早苗 短 期 (1973) 2017.03.22	児島 雅 文学部 (1961) 2017.10.03	佐久間敬止 文学部 (1962) 2018.03.12
瀧岡 昶尚 短 期 (1965) 2017.04.05	波佐場 薫 大学部 (1942) 2017.10.10	小原 慶正 文学部 (1957) 2018.03.17
向井 満 文学部 (1973) 2017.04.05	佐久間 竜 大学部 (1951) 2017.10.16	本林 常令 文学部 (1956) 2018.03.18
千羽 秀綱 大学部 (1948) 2017.04.06	米部 有恒 文学部 (1958) 2017.10.19	桂華 淳祥 博 士 (1979) 2018.03.21
小倉 自昭 文学部 (1961) 2017.04.15	天野 良典 短 期 (1976) 2017.10.20	五辻 文昭 文学部 (1971) 2018.03.25
富田 稔 文学部 (1963) 2017.04.22	小菅 光明 短 期 (1980) 2017.10.20	蓮 智弘 文学部 (1997) 2018.03.29
月輪 闡昭 文学部 (1962) 2017.05.01	徳山 文秀 大専門 (1942) 2017.10.26	宮田 廣運 文学部 (1961) 2018.04.07
明山 安雄 修 士 (1963) 2017.05.11	鎌倉 最正 修 士 (1974) 2017.11.01	武田 龍雄 大学部 (1948) 2018.04.11
都築 淳 修 士 (1977) 2017.05.13	島津 昌弘 文学部 (1960) 2017.11.05	長崎 誠 大専門 (1942) 2018.04.11
東 正憲 修 士 (1964) 2017.05.26	西井 元昭 大学部 (1951) 2017.11.09	塩谷 利英 短 期 (1964) 2018.04.21
田宮 宗英 大学部 (1947) 2017.06.14	北村 宏史 文学部 (1978) 2017.11.25	景山なぎさ 修 士 (1984) 2018.04.23
稲沢 淳勝 修 士 (1974) 2017.06.16	元秋 建 文学部 (1962) 2017.11.29	林 次郎 文学部 (1964) 2018.04.23
橘 公正 大学部 (1952) 2017.06.17	佐々木義淳 文学部 (1958) 2017.12.02	藤本 大量 文学部 (1958) 2018.04.24
藤津 弘示 文学部 (1961) 2017.06.21	雲井 昭善 大学部 (1941) 2017.12.05	山脇 惇 大学部 (1953) 2018.05.15
塚本 暉磨 文学部 (1960) 2017.06.23	白木澤建生 文学部 (1979) 2017.12.07	伊藤 昭憲 文学部 (1991) 2018.06.04
金村 良照 文学部 (2010) 2017.06.28	宅見 康昭 文学部 (1981) 2017.12.18	佐々木舜峰 大学部 (1954) 2018.06.15
加藤 義昭 文学部 (1958) 2017.07.06	清徳 光文 大学部 (1953) 2017.12.20	丹下 信行 文学部 (1971) 2018.06.28
江本 深 大専門 (1950) 2017.07.07	一楽 典次 大学部 (1951) 2017.12.25	宮部 等 文学部 (1979) 2018.07.04
原井 康雄 短 期 (1969) 2017.07.24	永田 幸雄 文学部 (1975) 2017.12.25	森川 善照 短 期 (1981) 2018.07.10
川瀬 武衛 文学部 (1959) 2017.07.28	経隆 優 博 士 (1978) 2017.12.27	

「英語を介した人間関係」

タテ関係を重視する日本の社会では、目上の人や立場が上の人に対して、尊敬語・謙譲語・丁寧語の中から適切な敬語表現を選んで話す必要がある。こうした敬語が、外国人の日本語学習者にとっては一番難しいそうだが、日本語母語話者にとっても難しい。



大谷大学教授
(英文学・英米文化)
村瀬 順子

それに対して、英語には敬語がないとよく言われる。確かに日本語のような敬語はないが、相手の気持ちを慮るための丁寧表現はある。例えば、相手に何かを頼む時、pleaseをつければよいように思うが、pleaseは、一方的に頼み込むという強引さがあり丁寧度は一番低い。相手の意思を尊重するという意味では、Can you...? や Will you...? と疑問文にしたり、さらには Could you...? Would you...? というふうに仮定法過去を使うことで婉曲表

現になり丁寧さが増す。最も丁寧な表現は Would you mind...? (何々するのはお嫌ですか?) という表現である。また、I was wondering if you could... (何々していただけるかなあと考えておりました。) と頼みたい気持ちだけを遠回しに表現する方法もある。ただし、こうした丁寧表現は目上の人に対してとは限らず、状況に応じて用いられるもので、例えば上司が部下に対して丁寧に頼む場合もあるようだ。

日本語の敬語表現は時にはマニュアル化されて全く心のこもっていない形だけの丁寧さに陥ってしまう場合がある。また、敬語を使うことが一種の壁となり、人間関係がそれ以上に親しいものになることを阻んでしまうこともあるだろう。つまり、敬語を使っている限り、他人行儀な域を出られないということである。

英語では少なくともことばの端々で敬語を意識する必要はないし、年齢の上下に関わらず、職場やその他の場においても、ファースト・ネームで呼び合える関係には開放感があり、相手との距離の近さが感じられる。外国語を通して人との付き合い方を違った形で経験できることも外国語を学ぶ醍醐味の一つではないだろうか。

表紙絵 「観想西方浄土一五山」

183×340cm (部分) 2018年作

「釈尊は常に霊鷲山に在り」と言われたほど多く霊鷲山に在され、大無量寿経や観無量寿経、法華経など多くの経を講じられたところと伝えられています。霊鷲山は多宝山(ラナギリ)の中腹の出っ張りのところに位置します。そこには香堂(釈尊の住された場所)趾とされるレンガの礎が残り、一日そこで観想し、写生をしていますと、次々と世界中からの仏教徒の団体がお参りに来て、読経が絶えません。いろんな節の読経が二重三重になってしまうこともあるくらいです。45年前は地道で人もなく、野生動物の咆哮さえ聞こえたところでしたが、今は道も舗装され、乞食が並ぶ道と化しました。

香堂趾(グリドゥラクタ)から西はラトナギリ他、五つの山が季節によって見えます。(この前の一月に行った時は、霧とガスで二山しか見えませんでした。京都五山とか鎌倉五山とか本山とかいう言葉の元は、この地にあります。それぞれ山の中の樹下に出家修行者が住していたことによります。)その五山の間に太陽が沈んでいきます。密教(ヒンドゥ教の混ざった仏教)では、大日如来を中心に東南西北の順に阿闍、宝生、阿弥陀、不空成就の仏国土があるとされています。その中でも西方極楽浄土の教主阿弥陀への信仰が強くなったのは当然のことと思います。西に陽が沈んだ先はどのような世界なのかと尊敬と畏怖をもって阿弥陀浄土を観想したのではないかと思います。

日昇と日没時ほど太陽の変化(へんげ)と荘厳さを感じることはありません。陽が沈み、また翌日には同じ太陽が昇ると昔の人は考えなかったでしょう。陽が沈むと闇の世界となります。私達は闇となれば、何をすることもできない無明の世界となります。そのためには、心の目を開かねばなりません。私の持つ五感を研ぎ澄まし、自然から謙虚に学び、人類の歴史から学ぶ。この二つのことが私の現在の制作や生きる糧となる心境です。

昌中光享(1970年文学部卒業)
日本画家 インド美術研究者



2018年9月20日発行

発行 大谷大学同窓会本部
編集 『無盡燈』編集委員会

〒603-8143 京都市北区小山上総町 大谷大学校友センター内
電話 (075) 411-8124 FAX (075) 411-8157
振替 01020-9-20542

同窓会ホームページ <http://www.mujinto-otani.org/>

E-mail:kouyu@sec.otani.ac.jp

『無盡燈』の題字について 親鸞聖人の真蹟の坂東本『教行信証』から集字したものです。『維摩経』に「無盡燈というのは、譬えば一つの燈をもって百千の燈をともしようなものである。冥やみがみな明るくなるが、その明りはついになくなることがない。…説かれた教えのとおりにもずから一切の善いことがらを増しふやす。これを無盡燈となづける」とあり、先輩がともし続けた伝統に輝く燈の名に恥じないことが願われています。



ホームページ「無盡燈」
毎月1回更新しています。



<http://www.mujinto-otani.org/>



大谷大学同窓会Facebook
活躍中の同窓生の様子や、大谷大学の最新情報をお知らせしています。ぜひご覧ください。



<https://www.facebook.com/mujinto.otani/>